

1	集 団 検 診
---	---------

1 調査目的

がん検診における発見がん患者の精密検査結果の詳細を把握することにより、検診の評価を行い、精度管理の維持・向上を図る。

2 調査対象

令和5年度の地域検診における胃・肺・大腸・子宮頸・乳・前立腺の各がん検診受診者のうち、精密検査結果が「がん」または「がん疑い」と報告のあった者

3 調査内容

調査内容は、当事業団が実施した胃・肺・大腸・子宮頸・乳・前立腺の各がん検診における発見がん患者の精密検査結果および治療状況等とし、各がん取り扱い規約に基づいた内容について更なる詳細結果（報告）を求めた。

1] 取得方法

調査依頼先に対象者の発見がん追跡調査票を書留にて郵送し、回収した。

2] 調査依頼先

対象者の精密検査結果報告が提供された医療機関、または紹介先医療機関

3] 調査期間

初回調査：令和6年9月・・・調査票回収期限：令和6年9月30日

再調査：令和6年11月・・・調査票回収期限：令和6年11月29日

※再調査は、下記の場合に実施

- (1) 初回調査の結果、転院が判明した者
- (2) 初回調査後、新たに精密検査結果が「がん」または「がん疑い」と報告のあった者

4 用語の解説

1] 精密検査結果内訳

精検受診：医療機関より精検結果の報告があった者。または、要精検者からの報告で精検受診日・精検法・精検結果・精検医療機関の4項目が揃っている者

精検未把握：精検受診の有無が不明な者。または精検を受診していても精検結果が正確に分からない者

精検未受診：精検を受診していても不適切な精検が行われた者。または、精検未受診が判明している者

2] 発見がん追跡調査

追跡調査対象者数：精密検査結果でがん又はがん疑いと報告を受けた者（精検未把握者のうちがん又はがん疑いの者を含む）

詳細把握：発見がん追跡調査前に、がんと判明しかつその詳細結果を把握できた者

がん以外：発見がん追跡調査前に、がん以外の疾患であることを把握できた者

その他：初回調査及び再調査実施後、新たに医療機関よりがん又はがん疑いと精検結果の報告を受け、今回の調査期間中に調査を実施出来なかった者やがんと判明しているものの精検医療機関が不明な者等

令和5年度 地域検診における発見がん追跡調査結果

令和7年1月31日現在

対 象 年 齢	胃がん		肺がん		大腸がん	乳がん	前立腺がん
	X線	胸部X線	胸部C T				
	50-74歳	40-74歳	40-74歳	40-74歳	40-74歳	40-74歳	-
受診者数	26,279	58,110	687	57,423	36,949	27,421	
要精検者数	1,735	1,068	26	2,304	1,353	2,124	
要精検率(%)							
男女計	受診歴計	6.6	1.8	3.8	4.0	3.7	7.7
	初回	9.8	2.7	5.6	4.9	9.2	9.4
	非初回	5.8	1.5	1.6	3.8	2.5	7.4
男性	受診歴計	8.8	2.1	5.4	5.3	-	7.7
	初回	12.7	3.2	8.4	6.5	-	9.4
	非初回	7.7	1.7	1.9	5.0	-	7.4
女性	受診歴計	4.8	1.7	2.3	3.3	3.7	-
	初回	7.1	2.4	3.0	3.8	9.2	-
	非初回	4.3	1.4	1.3	3.2	2.5	-
精検受診者数	1,426	933	23	1,586	1,216	1,450	
精検受診率(%)	82.2	87.4	88.5	68.8	89.9	68.3	
追跡調査回収率(%)	95.6	98.7	100.0	99.0	96.6	92.2	
発見がん数	35	41	0	94	118	148	
がん発見率(%)							
男女計	受診歴計	0.13	0.07	0.00	0.16	0.32	0.54
	初回	0.21	0.09	0.00	0.40	0.70	0.75
	非初回	0.11	0.06	0.00	0.11	0.24	0.50
男性	受診歴計	0.23	0.12	0.00	0.26	-	0.54
	初回	0.28	0.21	0.00	0.66	-	0.75
	非初回	0.22	0.09	0.00	0.16	-	0.50
女性	受診歴計	0.05	0.04	0.00	0.11	0.32	-
	初回	0.15	0.02	0.00	0.23	0.70	-
	非初回	0.03	0.05	0.00	0.08	0.24	-
早期がん割合*(%)		59.4	41.5	-	59.6	74.6	-
陽性反応適中度(%)							
男女計	受診歴計	2.0	3.8	0.0	4.1	8.7	6.97
	初回	2.1	3.4	0.0	8.3	7.6	7.97
	非初回	2.0	4.1	0.0	2.9	9.6	6.71
男性	受診歴計	2.7	5.8	0.0	4.9	-	6.97
	初回	2.2	6.4	0.0	10.2	-	7.97
	非初回	2.9	5.3	0.0	3.2	-	6.71
女性	受診歴計	1.0	2.3	0.0	3.3	8.7	-
	初回	2.1	0.8	0.0	6.0	7.6	-
	非初回	0.6	3.3	0.0	2.6	9.6	-

*肺がんは0～I A期を早期がん に計上した。

対 象 年 齢	子宮頸がん									
	細胞診のみ			ASC-US時HPV追加**			HPV併用**			
	20-74歳	20-39歳	40-74歳	20-74歳	20-39歳	40-74歳	20-74歳	20-39歳	40-74歳	
受 診 者 数	1,452	76	1,376	24,645	4,124	20,521	7,095	2,483	4,612	
要 精 検 者 数	41	8	33	484	225	259	417	214	203	
要 精 検 率 (%)	受診歴計									
	初回									
	非初回									
精 検 受 診 者 数	30	6	24	402	180	222	351	182	169	
精 検 受 診 率 (%)	73.2	75.0	72.7	83.1	80.0	85.7	84.2	85.0	83.3	
追跡調査回収率 (%)	100.0	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
CIN3以上の発見数	1	0	1	18	3	15	16	8	8	
CIN3以上の発見率 (%)	受診歴計									
	初回									
	非初回									
早期がん割合* (%)	100.0	-	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	
CIN3以上の陽性反応適中度 (%)	受診歴計									
	初回									
	非初回									

*子宮頸がんはIA期を早期がん に計上した。

**子宮頸がんのASC-US時HPV追加、HPV併用については、

- ・細胞診ASC-USかつHPV (-) は精検不要とした。
- ・細胞診NILMかつHPV (+) で前回 (6か月以前) 結果も細胞診NILMかつHPV (+) は要精検とした。

【付表1】 令和4年度 栃木県におけるがん検診実施状況 (栃木県がん検診実施状況報告書より)

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
受 診 者 数	73,505	169,052	166,629	81,641	76,022
要 精 検 率 (%)	6.33	2.24	5.46	2.54	3.30
精 検 受 診 率 (%)	83.7	83.7	65.3	87.0	93.2

【付表2】 令和5年度 日本対がん協会全国集計におけるがん検診実施状況 (住民)
(日本対がん協会がん検診の年次報告書より)

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん	前立腺がん
受 診 者 数	1,643,849	2,832,186	2,477,211	1,115,509	1,106,217	413,978
要 精 検 率 (%)	4.72	1.91	5.44	1.37	3.99	6.36
精 検 受 診 率 (%)	78.5	77.8	66.7	81.9	89.6	63.9

【付表3】 がん検診プロセス指標の基準値一覧(がん検診のあり方に関する検討会報告書より)

		胃 (検診間隔1年)	大腸	肺 (検診以外の肺の 検査受診考慮)	乳 (連続受診者を考慮)	子宮頸*				
対象年齢		50-74歳	40-74歳	40-74歳	40-74歳	20-74歳	20-39歳	40-74歳		
精検受診率		90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上				
要精検率	男女計	受診歴計	7.6%以下	6.8%以下	2.3%以下	6.4%以下	2.5%以下	4.2%以下	1.9%以下	
		初回	10.3%以下	8.9%以下	3.1%以下	9.7%以下	3.7%以下	4.6%以下	2.9%以下	
		非初回	7.1%以下	6.4%以下	2.0%以下	5.3%以下	2.0%以下	3.8%以下	1.6%以下	
	男性	受診歴計	9.3%以下	8.6%以下	2.8%以下	-	-	-	-	
		初回	12.6%以下	11.1%以下	3.9%以下	-	-	-	-	
		非初回	8.6%以下	8.0%以下	2.4%以下	-	-	-	-	
	女性	受診歴計	6.6%以下	5.8%以下	2.0%以下	6.4%以下	2.5%以下	4.2%以下	1.9%以下	
		初回	12.6%以下	7.5%以下	2.7%以下	9.7%以下	3.7%以下	4.6%以下	2.9%以下	
		非初回	8.6%以下	5.4%以下	1.8%以下	5.3%以下	2.0%以下	3.8%以下	1.6%以下	
	がん発見率	男女計	受診歴計	0.11%以上	0.21%以上	0.05%以上	0.31%以上	0.15%以上	0.18%以上	0.14%以上
			初回	0.19%以上	0.49%以上	0.07%以上	0.52%以上	0.30%以上	0.22%以上	0.36%以上
			非初回	0.10%以上	0.15%以上	0.05%以上	0.23%以上	0.08%以上	0.14%以上	0.07%以上
男性		受診歴計	0.19%以上	0.31%以上	0.08%以上	-	-	-	-	
		初回	0.31%以上	0.73%以上	0.10%以上	-	-	-	-	
		非初回	0.16%以上	0.22%以上	0.07%以上	-	-	-	-	
女性		受診歴計	0.05%以上	0.14%以上	0.03%以上	0.31%以上	0.15%以上	0.18%以上	0.14%以上	
		初回	0.09%以上	0.34%以上	0.05%以上	0.52%以上	0.30%以上	0.22%以上	0.36%以上	
		非初回	0.05%以上	0.11%以上	0.03%以上	0.23%以上	0.08%以上	0.14%以上	0.07%以上	
陽性反応適中度		男女計	受診歴計	1.5%以上	3.0%以上	2.2%以上	4.8%以上	5.9%以上	4.4%以上	7.3%以上
			初回	1.9%以上	5.5%以上	2.2%以上	5.3%以上	8.1%以上	4.9%以上	12.8%以上
			非初回	1.4%以上	2.3%以上	2.2%以上	4.4%以上	4.1%以上	3.8%以上	4.3%以上
	男性	受診歴計	2.0%以上	3.6%以上	2.9%以上	-	-	-	-	
		初回	2.5%以上	6.6%以上	2.6%以上	-	-	-	-	
		非初回	1.9%以上	2.7%以上	3.0%以上	-	-	-	-	
	女性	受診歴計	0.8%以上	2.5%以上	1.7%以上	4.8%以上	5.9%以上	4.4%以上	7.3%以上	
		初回	1.1%以上	4.5%以上	1.9%以上	5.3%以上	8.1%以上	4.9%以上	12.8%以上	
		非初回	0.8%以上	1.9%以上	1.5%以上	4.4%以上	4.1%以上	3.8%以上	4.3%以上	

*子宮頸：要精検率はASC-US以上の割合、がん発見率及び陽性反応適中度はCIN3以上に対する値

がん検診のあり方に関する検討会による「がん検診の事業のあり方について（令和6年7月）」において、検診が目指すべき感度・特異度に基づいた新たなプロセス指標基準値が設定された。

本書は同報告書の別添6表7（全国の標準的な性・年齢階級に基づいた上限74歳の基準値）を用いて評価を行う。

胃がん検診

【胃X線検査】

1 検診実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)
男	17,041	1,462 (8.6)
女	20,528	938 (4.6)
総数	37,569	2,400 (6.4)

2 精検結果内訳 (発見がん追跡調査前)

	精検受診															精検未把握	精検未受診	総数	
	早期がん	進行がん	がが疑い	食道がん	その他の悪性腫瘍	粘膜下腫瘍	胃潰瘍	胃潰瘍癒痕	十二指腸潰瘍癒痕	胃ポリープ	異型上皮	萎縮性胃炎	その他の胃炎	その他の疾患	異常なし				
男	20	13	10	1	0	29	21	57	5	20	121	3	597	87	83	122	217	56	1,462
女	6	2	1	0	0	32	17	13	4	19	121	3	385	71	41	96	103	24	938
総数	26	15	11	1	0	61	38	70	9	39	242	6	982	158	124	218	320	80	2,400

3 発見がん追跡調査結果

1] 調査状況

	追跡調査対象者数 (a)	調査除外内訳			調査数 (a-(b+c+d))	回収数 (%)	
		詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)		回収数	(%)
男	43	0	0	0	43	41	(95.3)
女	9	0	0	0	9	9	(100.0)
総数	52	0	0	0	52	50	(96.2)

2] 調査結果内訳 (調査数及び調査前に発見がんの詳細を把握していた数を合わせた詳細)

	確定がん			食道がん (%)	良性疾患 (%)	異常なし (%)	未確定 (%)	追跡不能 (%)
	早期 (%)	進行 (%)	不明 (%)					
男	18 (41.9)	11 (25.6)	3 (7.0)	0 (0.0)	6 (14.0)	0 (0.0)	3 (7.0)	2 (4.7)
女	6 (66.7)	2 (22.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (11.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
総数	24 (46.2)	13 (25.0)	3 (5.8)	0 (0.0)	7 (13.5)	0 (0.0)	3 (5.8)	2 (3.8)

3] プロセス指標値

(1) 性・年齢階級別プロセス指標値

		受診者数		要精検者数 (%)		精検受診者数 (%)		発見がん数 (%)		陽性反応 適中度 (%)
男	39歳以下	194	8	(4.1)	8	(100.0)	0	(0.00)	(0.0)	
	40～44歳	901	42	(4.7)	31	(73.8)	0	(0.00)	(0.0)	
	45～49歳	1,117	45	(4.0)	34	(75.6)	0	(0.00)	(0.0)	
	50～54歳	1,273	69	(5.4)	51	(73.9)	0	(0.00)	(0.0)	
	55～59歳	1,101	63	(5.7)	46	(73.0)	0	(0.00)	(0.0)	
	60～64歳	1,718	119	(6.9)	99	(83.2)	1	(0.06)	(0.8)	
	65～69歳	3,362	327	(9.7)	265	(81.0)	13	(0.39)	(4.0)	
	70～74歳	4,476	468	(10.5)	377	(80.6)	14	(0.31)	(3.0)	
	75～79歳	2,664	285	(10.7)	246	(86.3)	4	(0.15)	(1.4)	
	80歳以上	235	36	(15.3)	32	(88.9)	0	(0.00)	(0.0)	
計	17,041	1,462	(8.6)	1,189	(81.3)	32	(0.19)	(2.2)		
50～74歳 (再掲)	受診歴計	11,930	1,046	(8.8)	838	(80.1)	28	(0.23)	(2.7)	
	初回	2,545	324	(12.7)	245	(75.6)	7	(0.28)	(2.2)	
	非初回	9,385	722	(7.7)	593	(82.1)	21	(0.22)	(2.9)	
女	39歳以下	320	13	(4.1)	12	(92.3)	0	(0.00)	(0.0)	
	40～44歳	1,701	47	(2.8)	38	(80.9)	0	(0.00)	(0.0)	
	45～49歳	2,076	36	(1.7)	31	(86.1)	0	(0.00)	(0.0)	
	50～54歳	2,140	53	(2.5)	41	(77.4)	0	(0.00)	(0.0)	
	55～59歳	1,980	75	(3.8)	59	(78.7)	1	(0.05)	(1.3)	
	60～64歳	2,666	120	(4.5)	103	(85.8)	0	(0.00)	(0.0)	
	65～69歳	3,540	175	(4.9)	151	(86.3)	1	(0.03)	(0.6)	
	70～74歳	4,023	266	(6.6)	234	(88.0)	5	(0.12)	(1.9)	
	75～79歳	1,996	148	(7.4)	138	(93.2)	1	(0.05)	(0.7)	
	80歳以上	86	5	(5.8)	4	(80.0)	0	(0.00)	(0.0)	
計	20,528	938	(4.6)	811	(86.5)	8	(0.04)	(0.9)		
50～74歳 (再掲)	受診歴計	14,349	689	(4.8)	588	(85.3)	7	(0.05)	(1.0)	
	初回	2,686	190	(7.1)	150	(78.9)	4	(0.15)	(2.1)	
	非初回	11,663	499	(4.3)	438	(87.8)	3	(0.03)	(0.6)	
計	39歳以下	514	21	(4.1)	20	(95.2)	0	(0.00)	(0.0)	
	40～44歳	2,602	89	(3.4)	69	(77.5)	0	(0.00)	(0.0)	
	45～49歳	3,193	81	(2.5)	65	(80.2)	0	(0.00)	(0.0)	
	50～54歳	3,413	122	(3.6)	92	(75.4)	0	(0.00)	(0.0)	
	55～59歳	3,081	138	(4.5)	105	(76.1)	1	(0.03)	(0.7)	
	60～64歳	4,384	239	(5.5)	202	(84.5)	1	(0.02)	(0.4)	
	65～69歳	6,902	502	(7.3)	416	(82.9)	14	(0.20)	(2.8)	
	70～74歳	8,499	734	(8.6)	611	(83.2)	19	(0.22)	(2.6)	
	75～79歳	4,660	433	(9.3)	384	(88.7)	5	(0.11)	(1.2)	
	80歳以上	321	41	(12.8)	36	(87.8)	0	(0.00)	(0.0)	
計	37,569	2,400	(6.4)	2,000	(83.3)	40	(0.11)	(1.7)		
50～74歳 (再掲)	受診歴計	26,279	1,735	(6.6)	1,426	(82.2)	35	(0.13)	(2.0)	
	初回	5,231	514	(9.8)	395	(76.8)	11	(0.21)	(2.1)	
	非初回	21,048	1,221	(5.8)	1,031	(84.4)	24	(0.11)	(2.0)	

(2) 受診歴別プロセス指標値

		受診者数		要精検者数 (%)		精検受診者数 (%)		発見がん内訳			陽性反応 適中度 (%)			
						早期 (%)	進行 (%)	不明						
初回	男	3,779	437	(11.6)	335	(76.7)	8	(0.21)	6	(85.7)	1	(14.3)	1	(1.8)
	女	4,435	271	(6.1)	217	(80.1)	4	(0.09)	3	(75.0)	1	(25.0)	0	(1.5)
	計	8,214	708	(8.6)	552	(78.0)	12	(0.15)	9	(81.8)	2	(18.2)	1	(1.7)
非初回	男	13,262	1,025	(7.7)	854	(83.3)	24	(0.18)	12	(54.5)	10	(45.5)	2	(2.3)
	女	16,093	667	(4.1)	594	(89.1)	4	(0.02)	3	(75.0)	1	(25.0)	0	(0.6)
	計	29,355	1,692	(5.8)	1,448	(85.6)	28	(0.10)	15	(57.5)	11	(42.3)	2	(1.7)
総数	37,569	2,400	(6.4)	2,000	(83.3)	40	(0.11)	24	(64.9)	13	(35.1)	3	(1.7)	

※早期・進行割合は深達度不明の者を除いて集計

※令和6年度地域保健・健康増進事業報告より、

初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も胃がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上胃がん検診を受診している者

(3) プロセス指標値の年次推移

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診率 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
令和5年度	37,569	2,400 (6.4)	(83.3)	40 (0.11)	(1.7)
令和4年度	39,045	2,532 (6.5)	(83.1)	37 (0.09)	(1.5)
令和3年度	39,973	3,098 (7.8)	(84.3)	54 (0.14)	(1.7)

4] 発見がんの詳細

(1) 性別深達度

深達度	早期		進行				不明
	M	SM	MP	SS	SE	SI	
男	11	7	5	4	2	0	3
女	5	1	1	0	1	0	0
総数	16	8	6	4	3	0	3

以下の(2)~(8)は深達度不明の3名を除き集計した

(2) 深達度

深達度	発見数	総数 (%)
早期 M	16	24 (64.9)
SM	8	
進行 MP	6	13 (35.1)
SS	4	
SE	3	
SI	0	
総数	37	37 (100.0)

(3) 肉眼的分類

肉眼的分類	発見数
I	2
II a	9
0型 II a+ II c	4
II b	1
II c	7
II b+ II c	1
1型	0
2型	4
3型	5
4型	4
5型	0
総数	37

(4) 進行度分類 (病理)

進行度	発見数
I A	21
I B	7
II A	0
II B	3
III A	1
III B	1
III C	2
IV	0
不明	0
未記入	2
総数	37

(5) 部位 (壁在) 分類

	早期	進行	総数
前壁	3	0	3
後壁	7	4	11
大彎	4	2	6
小彎	10	5	15
全周	0	1	1
未記入	0	1	1
総数	24	13	37

(6) 部位 (UML) 分類

	早期	進行	総数
U	4	3	7
UM	0	0	0
MU	0	1	1
M	9	3	12
ML	1	1	2
LM	1	1	2
L	8	2	10
全体	1	2	3
未記入	0	0	0
総数	24	13	37

(7) 組織型分類

組織型	発見数
pap	3
tub1	17
tub2	6
por1	2
por2	2
por (1,2不明)	2
sig	3
muc	1
特殊型	1
不明	0
未記入	0
総数	37

(8) 治療方法

	発見数
外科手術	7
腹腔鏡下手術	15
内視鏡的治療	15
化学療法	0
無治療	0
その他	0
未記入	0
総数	37

【胃がんリスク層別化検査】

1 検診実施状況

1) 判定区分

	異常認めず		要二次検査	
	A群	B群	C群	D群
ペプシノゲン検査	-	-	+	+
ヘリコバクター・ピロリ抗体検査	-	+	+	-

2) リスク分類別内訳

年齢	受診者数	A群 (%)		B群 (%)		C群 (%)		D群 (%)		B+C+D群 (%)	
39歳以下	315	273	(86.7)	24	(7.6)	14	(4.4)	4	(1.3)	42	(13.3)
40～44歳	456	386	(84.6)	42	(9.2)	25	(5.5)	3	(0.7)	70	(15.4)
45～49歳	404	356	(88.1)	26	(6.4)	16	(4.0)	6	(1.5)	48	(11.9)
50～54歳	453	385	(85.0)	32	(7.1)	25	(5.5)	11	(2.4)	68	(15.0)
55～59歳	365	314	(86.0)	17	(4.7)	25	(6.8)	9	(2.5)	51	(14.0)
60～64歳	407	324	(79.6)	47	(11.5)	30	(7.4)	6	(1.5)	83	(20.4)
65～69歳	557	423	(75.9)	55	(9.9)	60	(10.8)	19	(3.4)	134	(24.1)
70～74歳	529	384	(72.6)	56	(10.6)	61	(11.5)	28	(5.3)	145	(27.4)
75～79歳	22	16	(72.7)	1	(4.5)	3	(13.6)	2	(9.1)	6	(27.3)
総数	3,508	2,861	(81.6)	300	(8.6)	259	(7.4)	88	(2.5)	647	(18.4)

3) 性別要二次検査者数

	受診者数	要二次検査者数 (%)	
男	1,187	235	(19.8)
女	2,321	412	(17.8)
総数	3,508	647	(18.4)

2 二次検査結果内訳（発見胃がん追跡調査前の二次検査結果）

	二次検査受診															二次検査未把握	二次検査未受診	総数	
	早期がん	進行がん	がん疑い	その他の胃悪性腫瘍	食道がん	粘膜下腫瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍・癒痕	胃ポリープ	異型上皮	萎縮性胃炎	その他の胃炎	逆流性食道炎	その他の疾患	異常なし				
男	2	1	2	0	1	0	2	1	5	11	0	87	9	5	11	17	64	17	235
女	0	1	1	1	0	5	3	1	8	28	0	189	20	3	17	29	86	20	412
総数	2	2	3	1	1	5	5	2	13	39	0	276	29	8	28	46	150	37	647

3 発見胃がん追跡調査結果

1) 調査状況

	追跡調査対象者数* (a)	調査除外内訳			調査数 (a-(b+c+d))	回収数 (%)
		詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)		
男	5	0	0	0	5	5 (100.0)
女	2	0	0	0	2	2 (100.0)
総数	7	0	0	0	7	7 (100.0)

*追跡調査対象者数：二次検査結果でがん又はがん疑いと報告を受けた者

2] 調査結果内訳

	発見がん			良性疾患 (%)	追跡不能 (%)	未確定 (%)
	早期 (%)	進行 (%)	不明 (%)			
男	2 (40.0)	1 (20.0)	1 (20.0)	1 (20.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
女	1 (50.0)	0 (0.0)	1 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
総数	3 (42.9)	1 (14.3)	2 (28.5)	1 (14.3)	0 (0.0)	0 (0.0)

3] プロセス指標値

(1) 性・年齢階級別プロセス指標値

	受診者数	要二次検査者数 (%)	二次検査受診者数 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
39歳以下	92	11 (12.0)	10 (90.9)	0 (0.00)	(0.0)
40～44歳	124	24 (19.4)	17 (70.8)	0 (0.00)	(0.0)
45～49歳	103	13 (12.6)	9 (69.2)	0 (0.00)	(0.0)
50～54歳	140	15 (10.7)	6 (40.0)	0 (0.00)	(0.0)
55～59歳	103	13 (12.6)	5 (38.5)	0 (0.00)	(0.0)
男 60～64歳	137	25 (18.2)	17 (68.0)	0 (0.00)	(0.0)
65～69歳	236	63 (26.7)	43 (68.3)	4 (1.69)	(6.3)
70～74歳	242	68 (28.1)	46 (67.6)	0 (0.00)	(0.0)
75～79歳	10	3 (30.0)	1 (33.3)	0 (0.00)	(0.0)
80歳以上	0	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.00)	(0.0)
計	1,187	235 (19.8)	154 (65.5)	4 (0.34)	(1.7)
39歳以下	223	31 (13.9)	26 (83.9)	0 (0.00)	(0.0)
40～44歳	332	46 (13.9)	31 (67.4)	0 (0.00)	(0.0)
45～49歳	301	35 (11.6)	25 (71.4)	0 (0.00)	(0.0)
50～54歳	313	53 (16.9)	34 (64.2)	0 (0.00)	(0.0)
55～59歳	262	38 (14.5)	24 (63.2)	0 (0.00)	(0.0)
女 60～64歳	270	58 (21.5)	45 (77.6)	1 (0.37)	(1.7)
65～69歳	321	71 (22.1)	60 (84.5)	1 (0.31)	(1.4)
70～74歳	287	77 (26.8)	58 (75.3)	0 (0.00)	(0.0)
75～79歳	12	3 (25.0)	3 (100.0)	0 (0.00)	(0.0)
80歳以上	0	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.00)	(0.0)
計	2,321	412 (17.8)	306 (74.3)	2 (0.09)	(0.5)
総数	3,508	647 (18.4)	460 (71.1)	6 (0.17)	(0.9)

(2) プロセス指標値の年次推移

	受診者数	要二次検査者数 (%)	二次検査受診率 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
令和5年度	3,508	647 (18.4)	(71.1)	6 (0.17)	(0.9)
令和4年度	3,781	771 (20.4)	(74.3)	1 (0.03)	(0.1)
令和3年度	3,704	800 (21.6)	(71.9)	4 (0.11)	(0.5)

(3) リスク分類別プロセス指標値

	B群	C群	D群
要二次検査者数	300	259	88
二次検査受診者数 (%)	207 (69.0)	183 (70.7)	70 (79.5)
発見がん数 (%)	男 2	1	1
	女 0	1	1
計	2 (0.67)	2 (0.77)	2 (2.27)

4] 発見がんの詳細

(1) 性別深達度

深達度	早期		進行	不明
	M	SM	SE	
男	1	1	1	1
女	1	0	0	1
総数	2 (33.3)	1 (16.7)	1 (16.7)	2 (33.3)

(2) 肉眼的分類

肉眼的分類	発見数
0型（表在型）	3
2型	1
4型	2
総数	6

(3) 進行度分類（病理）

進行度	発見数
I A	3
I B	1
III C	1
不明	1
総数	6

(4) 部位（壁在）分類

	早期	進行	不明	総数
小彎	2	0	0	2
大彎	1	0	2	3
全周	0	1	0	1
総数	3	1	2	6

(5) 部位（UML）分類別発見数

	早期	進行	不明	総数
L	3	0	2	5
全体	0	1	0	1
総数	3	1	2	6

(6) 組織型分類

組織型	B群	C群	D群	総数
tub1	0	0	2	2
tub2	2	1	0	3
sig	0	1	0	1
総数	2	2	2	6

(7) 治療方法

	発見数
外科手術	2
腹腔鏡下手術	2
内視鏡的治療	2
総数	6

(8) 前回受診結果

リスク分類	令和5年度受診結果					前回受診結果	
	検診方法	深達度	がん内訳	進行度	組織型	受診年度	検診方法（判定）
B群	リスク	SM	早期がん	I B	tub2	H24	X線（異常なし）
B群	X線+リスク	SE	進行がん	III C	tub2	R4	X線（精検不要）
C群	X線+リスク	不明	-	I A	sig	R4	X線（精検不要）
C群	X線+リスク	不明	-	-	tub2	R1	X線（異常なし）
D群	X線+リスク	M	早期がん	I A	tub1		受診歴なし
D群	X線+リスク	M	早期がん	I A	tub1		受診歴なし

4 まとめ

令和5年度胃がん検診（胃 X線検査）の受診者は37,569人、要精検率は6.4%であった。追跡調査の結果、精検受診率83.3%、がん発見率0.11%、陽性反応適中度1.7%であった。また、発見された胃がんは、早期がん64.9%、進行がん35.1%であった。

対象年齢50～74歳のプロセス指標基準値との比較では、要精検率6.6%、がん発見率0.13%、陽性反応適中度2.0%で基準値を満たしていたが、精検受診率は82.2%で基準値を満たしていなかった。

受診歴別では、非初回受診者において、要精検率5.8%、がん発見率0.11%、陽性反応適中度2.0%で基準値を満たしていたが、女性の非初回受診者では、がん発見率0.03%、陽性反応適中度0.6%で基準値を満たしていなかった。

令和5年度の胃がんリスク層別化検査は、7市3町において実施され、受診者数3,508人、二次検査対象者率18.4%であった。追跡調査の結果、二次検査受診率71.1%、がん発見率0.17%、陽性反応適中度0.9%であった。

肺がん検診

1 検診実施状況

1] 肺がん検診

(1) 胸部X線検査（+喀痰細胞診）

	受診者数	要精検者数					
		X線検査				喀痰細胞診 (%)	
		D判定 (%)*		E判定 (%)*			
胸部X線	31,160	428	(1.4)	779	(2.5)	-	-
男 胸部X線+喀痰細胞診	1,277	30	(2.3)	48	(3.8)	3	(0.2)
計	32,437	458	(1.4)	827	(2.5)	-	-
胸部X線	46,369	485	(1.0)	850	(1.8)	-	-
女 胸部X線+喀痰細胞診	133	2	(1.5)	4	(3.0)	0	(0.0)
計	46,502	487	(1.0)	854	(1.8)	-	-
胸部X線	77,529	913	(1.2)	1,629	(2.1)	-	-
総数 胸部X線+喀痰細胞診	1,410	32	(2.3)	52	(3.7)	3	(0.2)
総数	78,939	945	(1.2)	1,681	(2.1)	-	-

(2) 胸部CT検査（+喀痰細胞診）

	受診者数	要精検者数					
		CT検査				喀痰細胞診 (%)	
		D判定 (%)*		E判定 (%)*			
胸部CT	405	26	(6.4)	27	(6.7)	-	-
男 胸部CT+喀痰細胞診	15	3	(20.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
計	420	29	(6.9)	27	(6.4)	-	-
胸部CT	430	27	(6.3)	10	(2.3)	-	-
女 胸部CT+喀痰細胞診	0	-	-	-	-	-	-
計	430	27	(6.3)	10	(2.3)	-	-
胸部CT	835	53	(6.3)	37	(4.4)	-	-
総数 胸部CT+喀痰細胞診	15	3	(20.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
総数	850	56	(6.6)	37	(4.4)	-	-

*要精検者数のD判定は「肺癌以外の疾患を疑う」、E判定は「肺癌の疑い」

2 精検結果内訳（胸部X線検査要精検（E判定）者および喀痰細胞診要精検者のみ）

	精検受診													精検	精検	総
	原発性肺がん	肺がん疑い	転移性肺腫瘍	悪性腫瘍以外の肺腫瘍	その他の悪性腫瘍	縦隔腫瘍	活動性肺結核疑い	不活動性肺結核疑い	肺結核治癒	その他の呼吸器疾患	循環器疾患	その他の異常	異常認めず			
男	6	69	1	5	1	5	0	4	7	304	6	15	279	100	25	827
女	7	52	2	8	0	7	0	5	6	304	5	20	357	68	13	854
総数	13	121	3	13	1	12	0	9	13	608	11	35	636	168	38	1,681

3 発見がん追跡調査結果（胸部X線検査要精検（E判定）者および喀痰細胞診要精検者のみ）

1] 調査状況

	追跡調査対象者数 (a)	調査除外内訳			調査数 (a-(b+c+d))	回収数 (%)
		詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)		
男	75	0	5	0	70	70 (100.0)
女	59	0	5	0	54	53 (98.1)
総数	134	0	10	0	124	123 (99.2)

2] 調査結果内訳（調査数及び発見がんの詳細を把握していた数を併せた内訳）

	発見がん			その他 (%)	異常なし (%)	未確定 (%)	追跡不能 (%)
	0-I A期 (%)	0-I A期外 (%)	不明 (%)				
男	17 (24.3)	25 (35.7)	2 (2.9)	24 (34.3)	0 (0.0)	2 (2.9)	0 (0.0)
女	7 (13.0)	13 (24.1)	0 (0.0)	27 (50.0)	3 (5.6)	3 (5.6)	1 (1.9)
総数	24 (19.4)	38 (30.6)	2 (1.6)	51 (41.1)	3 (2.4)	5 (4.0)	1 (0.8)

3] プロセス指標値

(1) 性・年齢階級別プロセス指標値

	受診者数	要精検者数 (%)		精検受診者数 (%)		発見がん数 (%)		陽性反応 適中度 (%)
男	39歳以下	319	5 (1.6)	5 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.0)	(0.0)	
	40～44歳	1,169	7 (0.6)	6 (85.7)	0 (0.00)	0 (0.0)	(0.0)	
	45～49歳	1,385	13 (0.9)	12 (92.3)	1 (0.07)	1 (0.07)	(7.7)	
	50～54歳	1,629	27 (1.7)	23 (85.2)	1 (0.06)	1 (0.06)	(3.7)	
	55～59歳	1,426	24 (1.7)	17 (70.8)	1 (0.07)	1 (0.07)	(4.2)	
	60～64歳	2,399	56 (2.3)	46 (82.1)	1 (0.04)	1 (0.04)	(1.8)	
	65～69歳	5,717	135 (2.4)	117 (86.7)	6 (0.10)	6 (0.10)	(4.4)	
	70～74歳	8,421	204 (2.4)	168 (82.4)	17 (0.20)	17 (0.20)	(8.3)	
	75～79歳	5,983	191 (3.2)	170 (89.0)	12 (0.20)	12 (0.20)	(6.3)	
	80歳以上	3,989	165 (4.1)	138 (83.6)	5 (0.13)	5 (0.13)	(3.0)	
	計	32,437	827 (2.5)	702 (84.9)	44 (0.14)	44 (0.14)	(5.3)	
	40～74歳 受診歴計	22,146	466 (2.1)	389 (83.5)	27 (0.12)	27 (0.12)	(5.8)	
	(再掲) 初回	6,298	202 (3.2)	159 (78.7)	13 (0.21)	13 (0.21)	(6.4)	
	非初回	15,848	264 (1.7)	230 (87.1)	14 (0.09)	14 (0.09)	(5.3)	
女	39歳以下	516	0 (0.0)	-	0 (0.00)	0 (0.0)	(0.0)	
	40～44歳	2,712	11 (0.4)	9 (81.8)	0 (0.00)	0 (0.0)	(0.0)	
	45～49歳	3,149	11 (0.3)	11 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.0)	(0.0)	
	50～54歳	3,242	30 (0.9)	27 (90.0)	0 (0.00)	0 (0.0)	(0.0)	
	55～59歳	3,282	41 (1.2)	32 (78.0)	1 (0.03)	1 (0.03)	(2.4)	
	60～64歳	4,906	86 (1.8)	76 (88.4)	2 (0.04)	2 (0.04)	(2.3)	
	65～69歳	8,052	162 (2.0)	151 (93.2)	5 (0.06)	5 (0.06)	(3.1)	
	70～74歳	10,621	261 (2.5)	238 (91.2)	6 (0.06)	6 (0.06)	(2.3)	
	75～79歳	6,525	152 (2.3)	141 (92.8)	5 (0.08)	5 (0.08)	(3.3)	
	80歳以上	3,497	100 (2.9)	88 (88.0)	1 (0.03)	1 (0.03)	(1.0)	
	計	46,502	854 (1.8)	773 (90.5)	20 (0.04)	20 (0.04)	(2.3)	
	40～74歳 受診歴計	35,964	602 (1.7)	544 (90.4)	14 (0.04)	14 (0.04)	(2.3)	
	(再掲) 初回	9,908	238 (2.4)	209 (87.8)	2 (0.02)	2 (0.02)	(0.8)	
	非初回	26,056	364 (1.4)	335 (92.0)	12 (0.05)	12 (0.05)	(3.3)	
計	39歳以下	835	5 (0.6)	5 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.0)	(0.0)	
	40～44歳	3,881	18 (0.5)	15 (83.3)	0 (0.00)	0 (0.0)	(0.0)	
	45～49歳	4,534	24 (0.5)	23 (95.8)	1 (0.02)	1 (0.02)	(4.2)	
	50～54歳	4,871	57 (1.2)	50 (87.7)	1 (0.02)	1 (0.02)	(1.8)	
	55～59歳	4,708	65 (1.4)	49 (75.4)	2 (0.04)	2 (0.04)	(3.1)	
	60～64歳	7,305	142 (1.9)	122 (85.9)	3 (0.04)	3 (0.04)	(2.1)	
	65～69歳	13,769	297 (2.2)	268 (90.2)	11 (0.08)	11 (0.08)	(3.7)	
	70～74歳	19,042	465 (2.4)	406 (87.3)	23 (0.12)	23 (0.12)	(4.9)	
	75～79歳	12,508	343 (2.7)	311 (90.7)	17 (0.14)	17 (0.14)	(5.0)	
	80歳以上	7,486	265 (3.5)	226 (85.3)	6 (0.08)	6 (0.08)	(2.3)	
	計	78,939	1,681 (2.1)	1,475 (87.7)	64 (0.08)	64 (0.08)	(3.8)	
	40～74歳 受診歴計	58,110	1,068 (1.8)	933 (87.4)	41 (0.07)	41 (0.07)	(3.8)	
	(再掲) 初回	16,206	440 (2.7)	368 (83.6)	15 (0.09)	15 (0.09)	(3.4)	
	非初回	41,904	628 (1.5)	565 (90.0)	26 (0.06)	26 (0.06)	(4.1)	

(2) 検査方法別プロセス指標値

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応 適中度 (%)
胸部X線	78,939	1,681 (2.1)	1,475 (87.7)	64 (0.08)	(3.8)
喀痰細胞診	1,410	3 (0.2)	3 (100.0)	0 (0.00)	(0.0)

(3) 受診歴別プロセス指標値

※ 令和6年度地域保健・健康増進事業報告より

初 回：前年度、肺がん検診を受診していない者

非初回：前年度も肺がん検診を受診している者

(肺癌取扱い規約では、前回未受診・前回受診)

1) 受診歴別プロセス指標値

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)	発見がん内訳			陽性反応 適中度 (%)
					0-I A期 (%)	0-I A期外 (%)	不明 (%)	
初 回	男	8,189	304 (3.7)	238 (78.3)	16 (0.20)	4 (25.0)	12 (75.0)	0 (0.0) (5.3)
	女	12,257	302 (2.5)	267 (88.4)	6 (0.05)	2 (33.3)	4 (66.7)	0 (0.0) (2.0)
	計	20,446	606 (3.0)	505 (83.3)	22 (0.11)	6 (27.3)	16 (72.7)	0 (0.0) (3.6)
非初回	男	24,248	523 (2.2)	464 (88.7)	28 (0.12)	13 (46.4)	13 (46.4)	2 (7.1) (5.4)
	女	34,245	552 (1.6)	506 (91.7)	14 (0.04)	5 (35.7)	9 (64.3)	0 (0.0) (2.5)
	計	58,493	1,075 (1.8)	970 (90.2)	42 (0.07)	18 (42.9)	22 (52.4)	2 (4.8) (3.9)
総 数	78,939	1,681 (2.1)	1,475 (87.7)	64 (0.08)	24 (37.5)	38 (59.4)	2 (3.1) (3.8)	

2) 受診歴別臨床病期分類別発見数

	初回	非初回
0	0	0
I A	0	0
I A1	1	4
I A2	3	9
I A3	2	5
I B	3	6
II A	0	0
II B	1	3
III A	5	5
III B	3	2
III C	1	0
IV	0	0
IV A	0	3
IV B	3	3
不明	0	2
総数	22	42

(4) プロセス指標値の年次推移

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診率 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応 適中度 (%)
令和5年度	78,939	1,681 (2.1)	(87.7)	64 (0.08)	(3.8)
令和4年度	77,616	1,871 (2.4)	(87.6)	67 (0.09)	(3.6)
令和3年度	75,151	1,373 (1.8)	(85.9)	46 (0.06)	(3.4)

4] 発見がんの詳細

(1) 組織型

	男	女	総数
腺癌	23	18	41
扁平上皮癌	12	2	14
小細胞癌	3	0	3
大細胞癌	1	0	1
その他	1	0	1
不明	4	0	4
総数	44	20	64

(2) 臨床病期分類

	男	女	総数
0	0	0	0
I A	0	0	0
I A1	4	1	5
I A2	6	6	12
I A3	7	0	7
I B	7	2	9
II A	0	0	0
II B	2	2	4
III A	6	4	10
III B	3	2	5
III C	1	0	1
IV	0	0	0
IV A	0	3	3
IV B	6	0	6
不明	2	0	2
総数	44	20	64

(3) 治療方法

	男	女	総数
胸腔鏡下手術	24	11	35
ロボット支援下手術	1	0	1
胸腔鏡下手術、化学療法	0	1	1
胸腔鏡下手術、放射線療法	1	0	1
化学療法	6	4	10
放射線療法	3	0	3
化学療法、放射線療法	4	2	6
治療拒否	1	1	2
不明	4	1	5
総数	44	20	64

4 喫煙及び組織型

1] 喫煙指数 (本数/日×年)

喫煙指数	男	女	総数
0～200	8	17	25
200～400	2	2	4
400～600	9	1	10
600～800	6	0	6
800～1000	9	0	9
1000～1200	8	0	8
1200～1400	0	0	0
1400～	2	0	2
総数	44	20	64

2] 喫煙指数及び組織型別発見数

喫煙指数	組織型	男	女	総数
600未満	腺癌	13	18	31
	扁平上皮癌	4	2	6
	小細胞癌	1	0	1
	大細胞癌	0	0	0
	その他	0	0	0
	不明	1	0	1
600以上	腺癌	10	0	10
	扁平上皮癌	8	0	8
	小細胞癌	2	0	2
	大細胞癌	1	0	1
	その他	1	0	1
	不明	3	0	3
総数		44	20	64

※喫煙歴無 男4人、女16人

3] 喫煙習慣及び組織型別発見数

喫煙習慣	組織型	男	女	総数
吸わない	腺癌	2	15	17
	扁平上皮癌	1	1	2
	小細胞癌	0	0	0
	大細胞癌	0	0	0
	その他	0	0	0
	不明	1	0	1
止めた	腺癌	11	1	12
	扁平上皮癌	6	0	6
	小細胞癌	2	0	2
	大細胞癌	1	0	1
	その他	0	0	0
	不明	3	0	3
吸う	腺癌	10	2	12
	扁平上皮癌	5	1	6
	小細胞癌	1	0	1
	大細胞癌	0	0	0
	その他	1	0	1
	不明	0	0	0
総数		44	20	64

5 その他の発見がん

1] 胸部CT検査 (+喀痰細胞診) からの発見がん

(1) プロセス指標値

	受診者数	要精検E判定数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
胸部CT	835	37 (4.4)	33 (89.2)	1 (0.12)	(2.70)
胸部CT+ 喀痰細胞診	15	0 (0.0)	-	0 (0.00)	(0.00)

(2) 発見がんの詳細

年齢	性別	前年度受診	組織型	臨床病期分類	治療方法
70代	男性	無	腺癌	I A1	胸腔鏡下手術

2] 要精検D判定者からの肺がん

(1) 検査方法別肺がん数

	受診者数	要精検D判定数 (%)	肺がん数
胸部X線	77,529	913 (1.2)	7
胸部X線+ 喀痰細胞診	1,410	32 (2.3)	1
胸部CT	835	53 (6.3)	1
胸部CT+ 喀痰細胞診	15	3 (20.0)	0

(2) 肺がんの詳細

検査方法	年代・性別	前年度受診	組織型	臨床病期分類	治療方法
X線のみ	70代女性	有	腺癌	I A2	胸腔鏡下手術
X線のみ	80代女性	無	腺癌	II B	放射線療法
X線のみ	70代男性	無	腺癌	I A3	胸腔鏡下手術
X線のみ	80代男性	有	扁平上皮癌	IV A	化学療法
X線のみ	70代男性	有	扁平上皮癌	III A	手術
X線のみ	70代男性	無	扁平上皮癌	I B	胸腔鏡下手術
X線のみ	60代男性	無	腺癌	II A	手術
X線+喀痰	70代男性	有	小細胞癌	II B	化学療法、放射線療法
CTのみ	50代女性	無	腺癌	I B	胸腔鏡下手術

6 まとめ

令和5年度の肺がん検診（胸部X線検査（+喀痰細胞診））の受診者は78,939人、要精検率は2.1%であった。追跡調査の結果、精検受診率87.7%、がん発見率0.08%、陽性反応適中度3.8%であった。受診歴別でみると、がん発見率は初回受診者0.11%、非初回受診者0.07%であり、臨床進行期分類0～I A期割合は初回受診者27.3%、非初回受診者42.9%であった。

対象年齢40～74歳のプロセス指標値との比較では、要精検率1.8%、がん発見率0.07%、陽性反応適中度3.8%で基準値を満たしていたが、精検受診率は87.4%で基準値を満たしていなかった。がん発見率、陽性反応適中度を受診歴別でみると、男性の初回・非初回受診者、女性の非初回受診者で基準値を満たしていたが、女性の初回受診者では、がん発見率0.02%、陽性反応適中度0.8%で基準値を満たしていなかった。

また、今回、要精検D判定者から9名の肺がんが発見された。判定方法を統一できるよう検討が必要である。

付表 胸部検診（肺がん検診）における至急精検結果

1] 至急対象所見内訳

	男	女	総数
肺がん疑い	39	22	61
結核疑い	3	0	3
その他疑い	11	8	19
総数	53	30	83

2] 肺がん疑いの精検結果内訳

	男	女	総数
原発性肺がん	4	2	6
肺がん疑い	12	8	20
転移性肺腫瘍	0	1	1
その他の呼吸器疾患	14	9	23
循環器疾患	1	1	2
その他の異常	3	0	3
異常なし	3	0	3
不明	2	1	3
総数	39	22	61

3] 結核疑いの精検結果内訳

	男	女	総数
肺がん疑い	1	0	1
その他の呼吸器疾患	2	0	2
総数	3	0	3

4] その他疑いの精検結果内訳

	男	女	総数
その他の呼吸器疾患	7	6	13
循環器疾患	2	0	2
その他の異常	1	1	2
異常なし	0	1	1
不明	1	0	1
総数	11	8	19

大腸がん検診

1 検診実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)
男	30,752	1,845 (6.0)
女	46,093	1,651 (3.6)
総数	76,845	3,496 (4.5)

2 精検結果内訳 (発見がん追跡調査前)

	精 検 受 診										憩 痔	そ の 他 の 疾 患	異 常 認 め ず	精 検 未 把 握	精 検 未 受 診	総 数		
	早 期 が ん	進 行 が ん	疑 念	腺 腫 (10mm 以上)	腺 腫 (10mm 未 満)	ポ リ ー プ (10mm 以上)	ポ リ ー プ (10mm 未 満)	ポ リ ー プ (10mm 以上)	ポ リ ー プ (10mm 未 満)	ク ロ ー ン 病							潰 瘍 性 大 腸 炎	
男	39	21	20	117	356	63	207	4	6	0	6	81	64	21	192	421	227	1,845
女	36	19	10	62	237	31	219	2	7	0	9	141	113	31	291	258	185	1,651
総数	75	40	30	179	593	94	426	6	13	0	15	222	177	52	483	679	412	3,496

3 発見がん追跡調査結果

1] 調査状況

	追跡調査対象者数 (a)		調査除外内訳		調査数 (a-(b+c+d))	回収数 (%)
	詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)			
男	86	0	0	0	86	85 (98.8)
女	66	3	0	0	63	62 (98.4)
総数	152	3	0	0	149	147 (98.7)

※精検検査項目が空欄又は不適切であった精検未受診者等のうち癌が発見された7名を含む

2] 調査結果内訳

	発 見 が ん		腺 腫 (10mm 以上)	腺 腫 (10mm 未 満)	ポ リ ー プ (10mm 以上)	ポ リ ー プ (10mm 未 満)	そ の 他 の 疾 患 (%)	異 常 な し (%)	未 確 定 (%)	追 跡 不 能 (%)
	早期 (%)	進行 (%)	(%)	(%)	(%)	(%)				
男	48 (55.8)	29 (33.7)	5 (5.8)	1 (1.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.2)	1 (1.2)	1 (1.2)
女	34 (51.5)	26 (39.4)	2 (3.0)	1 (1.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (3.0)	1 (1.5)
総数	82 (53.9)	55 (36.2)	7 (4.6)	2 (1.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.7)	3 (2.0)	2 (1.3)

3] プロセス指標値

(1) 性・年齢階級別プロセス指標値

		受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応 適中度 (%)
男	39歳以下	248	6 (2.4)	5 (83.3)	0 (0.00)	(0.0)
	40～44歳	1,159	39 (3.4)	31 (79.5)	3 (0.26)	(0.1)
	45～49歳	1,407	54 (3.8)	33 (61.1)	0 (0.00)	(0.0)
	50～54歳	1,633	75 (4.6)	40 (53.3)	6 (0.37)	(8.0)
	55～59歳	1,492	62 (4.2)	36 (58.1)	3 (0.20)	(4.8)
	60～64歳	2,382	113 (4.7)	69 (61.1)	5 (0.21)	(4.4)
	65～69歳	5,393	281 (5.2)	177 (63.0)	10 (0.19)	(3.6)
	70～74歳	7,785	499 (6.4)	332 (66.5)	28 (0.36)	(5.6)
	75～79歳	5,518	386 (7.0)	274 (71.0)	12 (0.22)	(3.1)
	80歳以上	3,735	330 (8.8)	206 (62.4)	10 (0.27)	(3.0)
	計	30,752	1,845 (6.0)	1,203 (65.2)	77 (0.25)	(4.2)
40～74歳 (再掲)	受診歴計	21,251	1,123 (5.3)	718 (63.9)	55 (0.26)	(4.9)
	初回	4,246	275 (6.5)	180 (65.5)	28 (0.66)	(10.2)
	非初回	17,005	848 (5.0)	538 (63.4)	27 (0.16)	(3.2)
女	39歳以下	531	19 (3.6)	12 (63.2)	0 (0.00)	(0.0)
	40～44歳	2,760	84 (3.0)	57 (67.9)	0 (0.00)	(0.0)
	45～49歳	3,279	108 (3.3)	76 (70.4)	1 (0.03)	(0.9)
	50～54歳	3,565	118 (3.3)	78 (66.1)	4 (0.11)	(3.4)
	55～59歳	3,599	107 (3.0)	79 (73.8)	4 (0.11)	(3.7)
	60～64歳	5,166	158 (3.1)	113 (71.5)	4 (0.08)	(2.5)
	65～69歳	7,901	242 (3.1)	188 (77.7)	10 (0.13)	(4.1)
	70～74歳	9,902	364 (3.7)	277 (76.1)	16 (0.16)	(4.4)
	75～79歳	6,091	270 (4.4)	208 (77.0)	12 (0.20)	(4.4)
	80歳以上	3,299	181 (5.5)	122 (67.4)	9 (0.27)	(5.0)
	計	46,093	1,651 (3.6)	1,210 (73.3)	60 (0.13)	(3.6)
40～74歳 (再掲)	受診歴計	36,172	1,181 (3.3)	868 (73.5)	39 (0.11)	(3.3)
	初回	6,177	232 (3.8)	173 (74.6)	14 (0.23)	(6.0)
	非初回	29,995	949 (3.2)	695 (73.2)	25 (0.08)	(2.6)
計	39歳以下	779	25 (3.2)	17 (68.0)	0 (0.00)	(0.0)
	40～44歳	3,919	123 (3.1)	88 (71.5)	3 (0.08)	(2.4)
	45～49歳	4,686	162 (3.5)	109 (67.3)	1 (0.02)	(0.6)
	50～54歳	5,198	193 (3.7)	118 (61.1)	10 (0.19)	(5.2)
	55～59歳	5,091	169 (3.3)	115 (68.0)	7 (0.14)	(4.1)
	60～64歳	7,548	271 (3.6)	182 (67.2)	9 (0.12)	(3.3)
	65～69歳	13,294	523 (3.9)	365 (69.8)	20 (0.15)	(3.8)
	70～74歳	17,687	863 (4.9)	609 (70.6)	44 (0.25)	(5.1)
	75～79歳	11,609	656 (5.7)	482 (73.5)	24 (0.21)	(3.7)
	80歳以上	7,034	511 (7.3)	328 (64.2)	19 (0.27)	(3.7)
	計	76,845	3,496 (4.5)	2,413 (69.0)	137 (0.18)	(3.9)
40～74歳 (再掲)	受診歴計	57,423	2,304 (4.0)	1,586 (68.8)	94 (0.16)	(4.1)
	初回	10,423	507 (4.9)	353 (69.6)	42 (0.40)	(8.3)
	非初回	47,000	1,797 (3.8)	1,233 (68.6)	52 (0.11)	(2.9)

(2) 受診歴別プロセス指標値

		受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見数 (%)	発見がん内訳		陽性反応 適中度 (%)
						早期 (%)	進行 (%)	
初回	男	5,180	352 (6.8)	232 (65.9)	33 (0.64)	18 (54.5)	15 (45.5)	(9.4)
	女	7,366	308 (4.2)	222 (72.1)	18 (0.24)	9 (50.0)	9 (50.0)	(5.8)
	計	12,546	660 (5.3)	454 (68.8)	51 (0.41)	27 (52.9)	24 (47.1)	(7.7)
非初回	男	25,572	1,493 (5.8)	971 (65.0)	44 (0.17)	30 (68.2)	14 (31.8)	(2.9)
	女	38,727	1,343 (3.5)	988 (73.6)	42 (0.11)	25 (59.5)	17 (40.5)	(3.1)
	計	64,299	2,836 (4.4)	1,959 (69.1)	86 (0.13)	55 (64.0)	31 (36.0)	(3.0)
総数	76,845	3,496 (4.5)	2,413 (69.0)	137 (0.18)	82 (59.9)	55 (40.1)	(3.9)	

※ 令和6年度地域保健・健康増進事業報告より、

初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も大腸がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上大腸がん検診を受診している者

(3) プロセス指標値の年次推移

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診率 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
令和5年度	76,845	3,496 (4.5)	(69.0)	137 (0.18)	(3.9)
令和4年度	75,514	3,558 (4.7)	(66.6)	123 (0.16)	(3.5)
令和3年度	73,438	3,507 (4.8)	(70.9)	106 (0.14)	(3.0)

4] 発見がんの詳細

(1) 占居部位

	男	女	総数
盲腸	2	6	8
上行結腸	14	11	25
横行結腸	11	7	18
下行結腸	5	3	8
S状結腸	22	23	45
直腸S状部	10	5	15
直腸	11	5	16
不明	2	0	2
総数	77	60	137

(2) 組織分類

	男	女	総数
乳頭腺癌	2	2	4
管状腺癌	52	35	87
高分化	18	21	39
中分化	1	0	1
低分化	0	1	1
粘液癌	4	1	5
不明			
総数	77	60	137

(3) 組織学的深達度

	男	女	総数
Tis(M)	36	23	59
T1a(SM)	1	2	3
T1b(SM)	11	9	20
T2(MP)	9	13	22
T3(SS)	18	13	31
T4a(SE)	2	0	2
総数	77	60	137

(4) 治療方法

	早期	進行	総数
ポリペクトミー	15	0	15
内視鏡的粘膜切除	51	0	51
腹腔鏡下手術	14	38	52
外科手術	1	15	16
その他	0	2	2
不明	1	0	1
総数	82	55	137

(5) Stage分類

	男	女	総数
0	36	23	59
I	18	19	37
II a	11	7	18
III a	3	5	8
III b	5	6	11
III c	0	0	0
IV	4	0	4
総数	77	60	137

(6) Dukes分類

	男	女	総数
A	54	42	96
B	11	7	18
C	8	11	19
D	4	0	4
総数	77	60	137

4 まとめ

令和5年度大腸がん検診の受診者は76,845人、要精検率4.5%であった。追跡調査の結果、精検受診率69.0%、がん発見率0.18%、陽性反応適中度3.9%であった。

がん発見率を性別で見ると、男性0.25%、女性0.13%であり、男性が有意に高かった ($p < 0.05$)。性年齢階級別では、男性は40～44歳、50～54歳、70～74歳で高く、女性は65歳から上昇する傾向を示した。受診歴別では、初回受診者0.41%、非初回受診者0.13%であり、初回受診者が有意に高かった ($p < 0.05$)。早期がん割合は、初回受診者52.9%、非初回受診者

64.0%であり、非初回受診者が高い傾向を示した。

プロセス指標値を経年でみると、要精検率は低下傾向、がん発見率および陽性反応適中度は上昇傾向であった。

対象年齢40～74歳のプロセス指標基準値との比較では、要精検率4.0%、陽性反応適中度4.1%は基準値を満たしていたが、精検受診率68.8%、がん発見率0.16%では基準値を満たしていなかった。受診歴別でも、初回・非初回受診者ともに要精検率、陽性反応適中度は基準値を満たしていたが、精検受診率、がん発見率は基準値を満たしていなかった。

発見された大腸がんの占居部位はS状結腸が最も多く45人（32.8%）、次いで上行結腸25人（18.2%）、横行結腸18人（13.1%）であった。例年では直腸に癌が多く発見されているが、今回はS状結腸に癌が最も多く発見される結果となった。

組織型は管状腺癌が最も多く、高分化型87人（63.5%）、中分化型39人（28.5%）を合わせると92.0%を占めていた。また、粘液癌が1人（0.7%）発見された。

深達度は、癌が粘膜内にとどまるTis(M)が59人（43.1%）と最も高かった。早期がん（Tis(M)、T1a,T1b(SM)）割合は、137人中82人（59.9%）であり、例年同様に約6割を占めていた。

治療は、早期がんでは内視鏡下で行われるポリペクトミー、ESDを含む内視鏡的切除が82人中66人（80.5%）、進行がんでは腹腔鏡下手術が55人中38人（69.1%）に実施され、術式の中で多く用いられていた。

子宮頸がん検診

1 検診実施状況

1] 検査方式別実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)
細胞診のみ	1,654	43 (2.6)
ASC-US時HPV追加*	27,840	514 (1.8)
HPV併用**	7,535	436 (5.8)
総数	37,029	993 (2.7)

*細胞診ASC-USの場合のみHPV-DNA検査を実施する方式

**細胞診とHPV-DNA検査を併用する方式

2] 市町別検査方式

細胞診のみ	宇都宮市
ASC-US時HPV追加	栃木市・鹿沼市・真岡市・矢板市・益子町・塩谷町・那珂川町 芳賀町の医療機関方式 足利市の30歳・35歳・40歳の希望者以外 那須烏山市の31歳・36歳・41歳以外 茂木町の30歳未満 那須塩原市の30歳から59歳以外 大田原市の25歳から45歳以外
HPV併用	小山市・野木町・下野市 芳賀町の検診車方式 足利市の30歳・35歳・40歳の希望者 那須烏山市の31歳・36歳・41歳 茂木町の30歳以上 那須塩原市の30歳から59歳 大田原市の25歳から45歳

3] 判定区分

		標本適否		細胞診		
		不適正		NILM	ASC-US	ASC-H ~
HPV検査	検査未実施	判定不能		異常認めず	要精密検査	要精密検査
	陰性	判定不能		異常認めず	精検不要	要精密検査
	陽性	判定不能** / 要精密検査*		精検不要** / 要精密検査*	要精密検査	要精密検査
	判定不能	判定不能		判定不能	要精密検査	要精密検査

*前回結果「細胞診NILM・HPV陽性」かつ前回受診6か月以前

**上記以外

2 発見がん追跡調査結果

1] プロセス指標値 (対象年齢のみ)

		受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	CIN3以上* 発見数 (%)	CIN3以上* 陽性反応 適中度 (%)
細胞診	20-74歳 受診歴計	1,452	41 (2.8)	30 (73.2)	1 (0.07)	(2.4)
	初回	776	36 (4.6)	26 (72.2)	1 (0.13)	(2.8)
	非初回	676	5 (0.7)	4 (80.0)	0 (0.00)	(0.0)
	20-39歳 受診歴計	76	8 (10.5)	6 (75.0)	0 (0.00)	(0.0)
	初回	75	8 (10.7)	6 (75.0)	0 (0.00)	(0.0)
	非初回	1	0 (0.0)	- (-)	0 (0.00)	(0.0)
	40-74歳 受診歴計	1,376	33 (2.4)	24 (72.7)	1 (0.07)	(3.0)
	初回	701	28 (4.0)	20 (71.4)	1 (0.14)	(3.6)
	非初回	675	5 (0.7)	4 (80.0)	0 (0.00)	(0.0)
ASC-US時 HPV追加	20-74歳 受診歴計	24,645	484 (2.0)	402 (83.1)	18 (0.07)	(3.7)
	初回	6,138	237 (3.9)	195 (82.3)	13 (0.21)	(5.5)
	非初回	18,507	247 (1.3)	207 (83.8)	5 (0.03)	(2.0)
	20-39歳 受診歴計	4,124	225 (5.5)	180 (80.0)	3 (0.07)	(1.3)
	初回	2,111	143 (6.8)	115 (80.4)	3 (0.14)	(2.1)
	非初回	2,013	82 (4.1)	65 (79.3)	0 (0.00)	(0.0)
	40-74歳 受診歴計	20,521	259 (1.3)	222 (85.7)	15 (0.07)	(5.8)
	初回	4,027	94 (2.3)	80 (85.1)	10 (0.25)	(10.6)
	非初回	16,494	165 (1.0)	142 (86.1)	5 (0.03)	(3.0)
HPV併用	20-74歳 受診歴計	7,095	417 (5.9)	351 (84.2)	16 (0.23)	(3.8)
	初回	4,319	233 (5.4)	196 (84.1)	9 (0.21)	(3.9)
	非初回	2,776	184 (6.6)	155 (84.2)	7 (0.25)	(3.8)
	20-39歳 受診歴計	2,483	214 (8.6)	182 (85.0)	8 (0.32)	(3.7)
	初回	1,839	147 (8.0)	124 (84.4)	6 (0.33)	(4.1)
	非初回	644	67 (10.4)	58 (86.6)	2 (0.31)	(3.0)
	40-74歳 受診歴計	4,612	203 (4.4)	169 (83.3)	8 (0.17)	(3.9)
	初回	2,480	86 (3.5)	72 (83.7)	3 (0.12)	(3.5)
	非初回	2,132	117 (5.5)	97 (82.9)	5 (0.23)	(4.3)

*CIN3以上とは、CIN3、AIS、子宮頸部浸潤がんを指す (以降、同様とする)

2] プロセス指標値の年次推移

		受診者数	要精検者数 (%)	精検受診率 (%)	CIN3以上 発見数 (%)	(再掲) 発見がん数 (%)	CIN3以上 陽性反応 適中度 (%)
令和5年度	細胞診のみ	1,654	43 (2.6)	(74.4)	1 (0.06)	1 (0.06)	(2.3)
	ASC-US時 HPV追加	27,840	514 (1.8)	(81.9)	18 (0.06)	2 (0.01)	(3.5)
	HPV併用	7,535	436 (5.8)	(83.7)	17 (0.23)	3 (0.04)	(3.9)
令和4年度	細胞診のみ	1,380	43 (3.1)	(74.4)	2 (0.14)	0 (0.00)	(4.7)
	ASC-US時 HPV追加	26,831	516 (1.9)	(81.4)	18 (0.07)	4 (0.01)	(3.5)
	HPV併用	9,021	571 (6.3)	(89.3)	19 (0.21)	6 (0.07)	(3.3)
令和3年度	細胞診のみ	1,306	42 (3.2)	(73.8)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)
	ASC-US時 HPV追加	27,418	555 (2.0)	(83.6)	30 (0.11)	5 (0.02)	(5.4)
	HPV併用	12,267	523 (4.3)	(88.0)	25 (0.20)	3 (0.02)	(4.8)

3 検査方式別発見がん追跡調査結果

1] 細胞診のみ

(1) 検診実施状況

1) 実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)
総数	1,654	43 (2.6)

2) 細胞診結果の内訳

	受診者数	適正標本									不適正標本	
		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno-carcinoma		
19歳以下	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～24歳	11	9	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
25～29歳	24	23	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
30～34歳	13	11	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
35～39歳	28	25	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
40～44歳	163	153	4	0	3	3	0	0	0	0	0	0
45～49歳	145	138	5	0	1	1	0	0	0	0	0	0
50～54歳	154	148	4	0	0	2	0	0	0	0	0	0
55～59歳	160	158	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～64歳	181	178	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
65～69歳	263	260	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
70～74歳	310	308	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
75～79歳	154	152	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
80歳以上	48	48	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数	1,654	1,611	21	4	8	10	0	0	0	0	0	0

(2) 精検結果内訳 (発見がん追跡調査前)

		精 検 受 診					結 果		精 検		総 数
上 皮 内 腺 がん *	扁平上皮がん *	腺 がん *	そ の 他 がん *	子宮頸部上皮内腫瘍3 *	子宮頸部上皮内腫瘍2	子宮頸部上皮内腫瘍1	そ の 他 疾 患	異 常 を 認 め ず	結 果 未 把 握	精 検 未 受 診	
0	1	0	0	0	2	12	3	14	10	1	43

*追跡対象者

※ 以降、上皮内腺がん、子宮頸部上皮内腫瘍3、子宮頸部上皮内腫瘍2、子宮頸部上皮内腫瘍1は、AIS、CIN3、CIN2、CIN1と表記する

(3) 発見がん追跡調査結果

1) 調査状況

追跡調査対象者数 (a)	調査除外内訳			調査数 (a-(b+c+d))	回収率 (%)
	詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)		
総数	1	0	0	1	1 (100.0)

2) 調査結果内訳

発見がん	IB期以上 (%)	IA期 (%)	AIS (%)	CIN3 (%)	CIN2 (%)	CIN1 (%)	異常なし (%)	追跡不能 (%)
0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

3) プロセス指標値

①細胞診結果別CIN3以上発見数

細胞診結果	標本の適否		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno-carcinoma
	適正	不適正									
受診者数	1,654	0	1,611	21	4	8	10	0	0	0	0
要精検者数	43	-	-	21	4	8	10	-	-	-	-
精検受診者数	32	-	-	15	4	6	7	-	-	-	-
CIN3以上発見数	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
(再掲) 発見がん数	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

②年齢階級別プロセス指標値

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	CIN3以上発見数 (%)	(再掲) 発見がん数 (%)	CIN3以上陽性反応適中度 (%)
19歳以下	0	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	(-)
20～24歳	11	2 (18.2)	0 (0.0)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)
25～29歳	24	1 (4.2)	1 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)
30～34歳	13	2 (15.4)	2 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)
35～39歳	28	3 (10.7)	3 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)
40～44歳	163	10 (6.1)	7 (70.0)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)
45～49歳	145	7 (4.8)	4 (57.1)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)
50～54歳	154	6 (3.9)	5 (83.3)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)
55～59歳	160	2 (1.3)	2 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)
60～64歳	181	3 (1.7)	2 (66.7)	1 (0.55)	1 (0.55)	(33.3)
65～69歳	263	3 (1.1)	2 (66.7)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)
70～74歳	310	2 (0.6)	2 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)
75～79歳	154	2 (1.3)	2 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)
80歳以上	48	0 (0.0)	- (-)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)
計	1,654	43 (2.6)	32 (74.4)	1 (0.06)	1 (0.06)	(2.3)
20～74歳 (再掲)	受診歴計 1,452	41 (2.8)	30 (73.2)	1 (0.07)	1 (0.07)	(2.4)
	初回 776	36 (4.6)	26 (72.2)	1 (0.13)	1 (0.13)	(2.8)
	非初回 676	5 (0.7)	4 (80.0)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)
20～39歳 (再掲)	受診歴計 76	8 (10.5)	6 (75.0)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)
	初回 75	8 (10.7)	6 (75.0)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)
	非初回 1	0 (0.0)	- (-)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)
40～74歳 (再掲)	受診歴計 1,376	33 (2.4)	24 (72.7)	1 (0.07)	1 (0.07)	(3.0)
	初回 701	28 (4.0)	20 (71.4)	1 (0.14)	1 (0.14)	(3.6)
	非初回 675	5 (0.7)	4 (80.0)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)

③受診歴別プロセス指標値

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	CIN3以上発見数 (%)	(再掲) 発見がん数 (%)	発見がん内訳		CIN3以上陽性反応適中度 (%)
						I A期 (%)	I B期以上 (%)	
初回	825	38 (4.6)	28 (73.7)	1 (0.12)	1 (0.12)	1 (100.0)	0 (0.0)	(2.6)
非初回	829	5 (0.6)	4 (80.0)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.0)	0 (0.0)	(0.0)
総数	1,654	43 (2.6)	32 (74.4)	1 (0.06)	1 (0.06)	1 (100.0)	0 (0.0)	(2.3)

※ 令和6年度地域保健・健康増進事業報告より、

初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も子宮頸がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上子宮頸がん検診を受診している者

4) 発見がんの1人の詳細

項目	結果
進行期分類	I A2期
TNM分類	T1a2・N0・M0
組織分類	扁平上皮癌
治療分類	単純子宮全摘出術および放射線療法

2] ASC-US時HPV追加

(1) 検診実施状況

1) 実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)
総数	27,840	514 (1.8)

2) 細胞診結果の内訳

	受診者数	適正標本									不適正標本
		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno-carcinoma	
19歳以下	20	16	0	0	4	0	0	0	0	0	0
20～24歳	561	493	18	1	47	1	0	1	0	0	0
25～29歳	817	764	16	2	30	3	0	2	0	0	0
30～34歳	1,175	1,102	12	3	34	12	0	12	0	0	0
35～39歳	1,571	1,491	24	3	34	11	0	8	0	0	0
40～44歳	1,971	1,879	36	1	23	16	0	16	0	0	0
45～49歳	2,627	2,526	50	4	29	14	0	4	0	0	0
50～54歳	2,666	2,580	39	5	26	8	0	8	0	0	0
55～59歳	2,260	2,223	23	3	8	2	0	1	0	0	0
60～64歳	3,086	3,046	21	6	6	4	0	1	0	0	2
65～69歳	3,796	3,756	19	3	9	7	0	1	0	1	0
70～74歳	4,115	4,072	24	1	6	9	1	0	0	0	2
75～79歳	2,228	2,196	19	4	4	3	0	1	0	0	1
80歳以上	947	930	10	3	2	2	0	0	0	0	0
総数	27,840	27,074	311	39	262	92	1	55	0	1	5

3) 細胞診ASC-USと判定された受診者のHPV-DNA検査結果の内訳

	受診者数	HPV(-)	HPV(+)(%)
19歳以下	0	-	- (-)
20～24歳	18	9	9 (50.0)
25～29歳	16	8	8 (50.0)
30～34歳	12	10	2 (16.7)
35～39歳	24	22	2 (8.3)
40～44歳	36	28	8 (22.2)
45～49歳	50	44	6 (12.0)
50～54歳	39	34	5 (12.8)
55～59歳	23	20	3 (13.0)
60～64歳	21	16	5 (23.8)
65～69歳	19	15	4 (21.1)
70～74歳	24	19	5 (20.8)
75～79歳	19	16	3 (15.8)
80歳以上	10	6	4 (40.0)
総数	311	247	64 (20.6)

(2) 精検結果内訳（発見がん追跡調査前）

	精 検 受 診									結 果	精 検	総 数
	A	扁平上皮がん*	腺がん*	その他のがん*	C	I	N	その他の疾患**	異常を認めず			
総数	1	1	1	3	19	53	169	16	158	70	23	514

* 追跡対象者

** その他の疾患から3人追跡調査の対象者とした

(3) 発見がん追跡調査結果

1) 調査状況

	調 査 除 外 内 訳				調査数 (a-(b+c+d))	回収数 (%)
	追跡調査 対象者数 (a)	詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)		
総数	25	0	0	0	25	25 (100.0)

2) 調査結果内訳

	発見がん		AIS (%)	CIN3 (%)	CIN2 (%)	CIN1 (%)	その他の疾患 (%)
	I B期以上 (%)	I A期 (%)					
総数	2 (8.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	16 (64.0)	2 (8.0)	4 (16.0)	1 (4.0)

3) プロセス指標値

①細胞診結果別CIN3以上発見数

細胞診結果	標本の適否		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno-carcinoma
	適正	不適正									
受診者数	27,835	5	27,074	311	39	262	92	1	55	0	1
精検不要者数	247	-	-	247	-	-	-	-	-	-	-
要精検者数	514	-	-	64	39	262	92	1	55	-	1
精検受診者数	421	-	-	49	35	206	78	1	51	-	1
CIN3 以上発見数	18	0	0	2	1	0	12	1	2	0	0
(再掲) 発見がん数	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0

②年齢階級別プロセス指標値

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	CIN3以上発見数 (%)	(再掲) 発見がん数 (%)	CIN3以上陽性 反応適中度 (%)	
19歳以下	20	4 (20.0)	1 (25.0)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
20～24歳	561	59 (10.5)	50 (84.7)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
25～29歳	817	45 (5.5)	35 (77.8)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
30～34歳	1,175	63 (5.4)	50 (79.4)	2 (0.17)	0 (0.00)	(3.2)	
35～39歳	1,571	58 (3.7)	45 (77.6)	1 (0.06)	0 (0.00)	(1.7)	
40～44歳	1,971	64 (3.2)	56 (87.5)	7 (0.36)	1 (0.05)	(10.9)	
45～49歳	2,627	57 (2.2)	53 (93.0)	4 (0.15)	0 (0.00)	(7.0)	
50～54歳	2,666	52 (2.0)	45 (86.5)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
55～59歳	2,260	17 (0.8)	13 (76.5)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
60～64歳	3,086	22 (0.7)	19 (86.4)	2 (0.06)	0 (0.00)	(9.1)	
65～69歳	3,796	25 (0.7)	22 (88.0)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
70～74歳	4,115	22 (0.5)	14 (63.6)	2 (0.05)	1 (0.02)	(9.1)	
75～79歳	2,228	15 (0.7)	11 (73.3)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
80歳以上	947	11 (1.2)	7 (63.6)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
計	27,840	514 (1.8)	421 (81.9)	18 (0.06)	2 (0.01)	(3.5)	
20～74歳 (再掲)	受診歴計	24,645	484 (2.0)	402 (83.1)	18 (0.07)	2 (0.01)	(3.7)
	初回	6,138	237 (3.9)	195 (82.3)	13 (0.21)	2 (0.03)	(5.5)
	非初回	18,507	247 (1.3)	207 (83.8)	5 (0.03)	0 (0.00)	(2.0)
20～39歳 (再掲)	受診歴計	4,124	225 (5.5)	180 (80.0)	3 (0.07)	0 (0.00)	(1.3)
	初回	2,111	143 (6.8)	115 (80.4)	3 (0.14)	0 (0.00)	(2.1)
	非初回	2,013	82 (4.1)	65 (79.3)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)
40～74歳 (再掲)	受診歴計	20,521	259 (1.3)	222 (85.7)	15 (0.07)	2 (0.01)	(5.8)
	初回	4,027	94 (2.3)	80 (85.1)	10 (0.25)	2 (0.05)	(10.6)
	非初回	16,494	165 (1.0)	142 (86.1)	5 (0.03)	0 (0.00)	(3.0)

※子宮頸がんの発見がん2人以外に、55～59歳と65～69歳で子宮体癌が2人発見された

③受診歴別プロセス指標値

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	CIN3以上 発見数 (%)	(再掲) 発見がん数 (%)	発見がん内訳		CIN3以上 陽性反応 適中度 (%)
						I A期 (%)	I B期以上 (%)	
初回	6,590	250 (3.8)	202 (80.8)	13 (0.20)	2 (0.03)	0 (0.0)	2 (100.0)	(5.2)
非初回	21,250	264 (1.2)	219 (83.0)	5 (0.02)	0 (0.00)	0 (0.0)	0 (0.0)	(1.9)
総数	27,840	514 (1.8)	421 (81.9)	18 (0.06)	2 (0.01)	0 (0.0)	2 (100.0)	(3.5)

※ 令和6年度地域保健・健康増進事業報告より、

初 回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も子宮頸がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上子宮頸がん検診を受診している者

4) 発見CIN3以上の詳細

①進行期分類

進行期分類	発見数
I A期及びCIN3、AIS	CIN3 16
	AIS 0
I B期以上	I B2期 1
	III C2期 1
総 数	18

②TNM分類

TNM分類	I A期	I B期以上
Tis・N0・M0	0	0
T1b2・N0・M0	0	1
T2a2・N2・M0	0	1
T不明・N不明・M不明	0	0
総 数	0	2

③組織分類

	I A期・I B期以外	I A期	I B期以上
CIN3	16	-	-
AIS	0	-	-
扁平上皮癌	0	0	2
総 数	16	0	2

④治療分類

・手術療法

術 式	CIN3	AIS	I A期	I B期以上
子宮頸部円錐切除術	14	0	0	0
単純子宮全摘出術	1	0	0	0
広汎子宮全摘出術	0	0	0	2
不明	1	0	0	0
総 数	16	0	0	2

・化学療法および放射線療法

I B2期1人とⅢC2期1人はともに広汎子宮全摘出術と放射線療法を施行

3] HPV併用

(1) 検診実施状況

1) 実施状況

	受診者数	要精検者数(%)
総 数	7,535	436 (5.8)

2) 細胞診結果の内訳

	受診者数	適正標本								不適正標本	
		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS		Adeno-carcinoma
19歳以下	6	4	0	0	2	0	0	0	0	0	0
20～24歳	249	215	12	0	19	2	0	1	0	0	0
25～29歳	432	378	17	0	28	4	0	5	0	0	0
30～34歳	785	705	31	3	34	6	0	5	0	0	1
35～39歳	1,017	952	32	4	20	3	0	5	0	0	1
40～44歳	1,053	973	45	0	17	12	0	6	0	0	0
45～49歳	826	774	36	0	12	3	0	1	0	0	0
50～54歳	797	748	22	7	11	7	0	2	0	0	0
55～59歳	516	494	14	2	4	1	0	1	0	0	0
60～64歳	488	470	10	1	4	3	0	0	0	0	0
65～69歳	496	492	2	0	1	1	0	0	0	0	0
70～74歳	436	428	4	0	2	2	0	0	0	0	0
75～79歳	280	275	2	0	1	2	0	0	0	0	0
80歳以上	154	151	0	0	1	2	0	0	0	0	0
総数	7,535	7,059	227	17	156	48	0	26	0	0	2

3)HPV-DNA検査結果の内訳

	受診者数	HPV(-)	HPV(+)	(%)
19歳以下	6	5	1	(16.7)
20～24歳	249	210	39	(15.7)
25～29歳	432	360	72	(16.7)
30～34歳	785	703	81	(10.3)
35～39歳	1,017	932	84	(8.3)
40～44歳	1,053	975	77	(7.3)
45～49歳	826	776	50	(6.1)
50～54歳	797	756	41	(5.1)
55～59歳	516	493	23	(4.5)
60～64歳	488	457	31	(6.4)
65～69歳	496	482	14	(2.8)
70～74歳	436	418	18	(4.1)
75～79歳	280	261	19	(6.8)
80歳以上	154	145	9	(5.8)
総数	7,535	6,973	559	(7.4)

※受診者数はHPV検査判定不能2人、希望なし1人を含む

(2) 精検結果内訳 (発見がん追跡調査前)

	精 検 受 診										結 果	精 検	総 数
	A	扁平上皮がん*	腺がん*	その他のがん**	C	C	C	その他の疾患***	異常を認めず****	未把握			
総数	1	2	1	3	20	33	159	15	131	58	13	436	

* 追跡対象者

** その他のがんから1人追跡調査の対象者とした

*** その他の疾患から2人追跡調査の対象者とした

**** 調査時は精密検査結果がCIN3であったため、異常を認めずから1人追跡調査の対象者とした

(3) 発見がん追跡調査結果

1) 調査状況

	追跡調査対象者数 (a)	調 査 除 外 内 訳			調査数 (a-(b+c+d))	回収数 (%)
		詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)		
総数	28	0	0	0	28	28 (100.0)

2) 調査結果内訳

	発見がん		AIS (%)	CIN3 (%)	CIN2 (%)	CIN1 (%)	その他の疾患 (%)	異常なし (%)	未確定 (%)
	I B期以上 (%)	I A期 (%)							
総数	2 (7.1)	2 (7.1)	2 (7.1)	12 (42.9)	1 (3.6)	2 (7.1)	1 (3.6)	4 (14.3)	2 (7.1)

3) プロセス指標値

①細胞診結果別HPV-DNA検査結果及びCIN3以上発見数

細胞診結果	標本の適否		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno-carcinoma
	適正	不適正									
受診者数	7,533	2	7,059	227	17	156	48	0	26	0	0
HPV検査 (-)	6,973	-	6,790	110	6	49	6	-	12	-	-
(+)	559	-	268	117	11	107	42	-	14	-	-
未実施	1	-	1	0	0	0	0	-	0	-	-
精検不要者数	306	-	196	110	-	-	-	-	-	-	-
要精検者数	436	-	72	117	17	156	48	-	26	-	-
精検受診者数	365	-	63	96	17	125	41	-	23	-	-
CIN3以上発見数	18	0	1	2	2	1	11	0	1	0	0
(再掲) 発見がん数	4	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0

②年齢階級別プロセス指標値

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	CIN3以上発見数 (%)	(再掲) 発見がん数 (%)	CIN3以上陽性 反応適中度 (%)	
19歳以下	6	2 (33.3)	2 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
20～24歳	249	31 (12.4)	24 (77.4)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
25～29歳	432	53 (12.3)	45 (84.9)	1 (0.23)	0 (0.00)	(1.9)	
30～34歳	785	74 (9.4)	62 (83.8)	2 (0.25)	0 (0.00)	(2.7)	
35～39歳	1,017	56 (5.5)	51 (91.1)	5 (0.49)	0 (0.00)	(8.9)	
40～44歳	1,053	62 (5.9)	47 (75.8)	3 (0.28)	0 (0.00)	(4.8)	
45～49歳	826	34 (4.1)	30 (88.2)	1 (0.12)	0 (0.00)	(2.9)	
50～54歳	797	34 (4.3)	32 (94.1)	3 (0.38)	1 (0.13)	(8.8)	
55～59歳	516	23 (4.5)	20 (87.0)	1 (0.19)	1 (0.19)	(4.3)	
60～64歳	488	23 (4.7)	16 (69.6)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
65～69歳	496	11 (2.2)	9 (81.8)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
70～74歳	436	16 (3.7)	15 (93.8)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
75～79歳	280	10 (3.6)	7 (70.0)	1 (0.36)	1 (0.36)	(10.0)	
80歳以上	154	7 (4.5)	5 (71.4)	1 (0.65)	1 (0.65)	(14.3)	
計	7,535	436 (5.8)	365 (83.7)	18 (0.24)	4 (0.05)	(4.1)	
20～74歳 (再掲)	受診歴計	7,095	417 (5.9)	351 (84.2)	16 (0.23)	2 (0.03)	(3.8)
	初回	4,319	233 (5.4)	196 (84.1)	9 (0.21)	2 (0.05)	(3.9)
	非初回	2,776	184 (6.6)	155 (84.2)	7 (0.25)	0 (0.00)	(3.8)
20～39歳 (再掲)	受診歴計	2,483	214 (8.6)	182 (85.0)	8 (0.32)	0 (0.00)	(3.7)
	初回	1,839	147 (8.0)	124 (84.4)	6 (0.33)	0 (0.00)	(4.1)
	非初回	644	67 (10.4)	58 (86.6)	2 (0.31)	0 (0.00)	(3.0)
40～74歳 (再掲)	受診歴計	4,612	203 (4.4)	169 (83.3)	8 (0.17)	2 (0.04)	(3.9)
	初回	2,480	86 (3.5)	72 (83.7)	3 (0.12)	2 (0.08)	(3.5)
	非初回	2,132	117 (5.5)	97 (82.9)	5 (0.23)	0 (0.00)	(4.3)

※子宮頸がんの発見がん4人以外に、45～49歳で子宮体癌1人が発見された

③受診歴別プロセス指標値

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	CIN3以上 発見数 (%)	(再掲) 発見がん数 (%)	発見がん内訳		CIN3以上 陽性反応 適中度 (%)
						I A期 (%)	I B期以上 (%)	
初回	4,521	239 (5.3)	201 (84.1)	11 (0.24)	4 (0.09)	2 (50.0)	2 (50.0)	(4.6)
非初回	3,014	197 (6.5)	164 (83.2)	7 (0.23)	0 (0.00)	0 (0.0)	0 (0.0)	(3.6)
総数	7,535	436 (5.8)	365 (83.7)	18 (0.24)	4 (0.05)	2 (50.0)	2 (50.0)	(4.1)

※ 令和6年度地域保健・健康増進事業報告より、

初 回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も子宮頸がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上子宮頸がん検診を受診している者

4) 発見CIN3以上の詳細

①進行期分類

進行期分類	発見数
I A期及びCIN3、AIS	CIN3 12
	AIS 2
	I A1期 2
I B期以上	II B期 1
	III C1期 1
総 数	18

②TNM分類

TNM分類	I A期	I B期以上
TX・N1・M0	0	1
Tis・NX・M0	0	0
Tis・N0・M0	0	0
T1a1・NX・M0	1	0
T1a1・N0・M0	1	0
T2b・NX・M0	0	1
T不明・N不明・M不明	0	0
総 数	2	2

③組織分類

	I A期・I B期以外	I A期	I B期以上
CIN3	12	-	-
AIS	2	-	-
扁平上皮癌	0	2	0
腺癌	0	0	1
不明	0	0	1
総 数	14	2	2

④治療分類

・手術療法

術 式	CIN3	AIS	I A期	I B期以上
子宮頸部円錐切除術	8	1	0	0
単純子宮全摘出術	3	0	1	1
準広汎子宮全摘出術	0	1	0	0
子宮頸部円錐切除術+準広汎子宮全摘出術	0	0	1	0
不明	1	0	0	1
総 数	12	2	2	2

※CIN3の不明1人は他院で施行予定

・化学療法および放射線療法

II B期1人は単純子宮全摘出術で化学療法と放射線療法を施行

4 まとめ

令和5年度子宮頸がん検診追跡調査の結果は、治療対象であるCIN3及びAISを追加し、対象年齢（20～74歳、20～39歳、40～74歳）及び検診受診歴（初回・非初回）を区別して集計し評価した。これは、「がん検診事業のあり方について（令和5年6月がん検診のあり方に関する検討会）」で示された新たなプロセス指標基準値に基づくものである。

各方式毎のプロセス指標値を20～74歳の対象年齢及び受診歴別でみると、細胞診のみの方式は一部の市町に限られ、受診者数1,452人、要精検率2.8%、精検受診率73.2%、CIN3以上発見数1人0.07%（I A期の子宮頸がん）、CIN3以上陽性反応適中度2.4%であった。

実施数が最も多いASC-US時HPV追加方式では、同対象年齢で受診者数24,645人、要精検率2.0%、（非初回1.3%）、精検受診率83.1%、CIN3以上発見数18人0.07%（非初回5人0.03%）、CIN3以上陽性反応適中度3.7%であった。

細胞診とHPV検査による利点が期待されるHPV併用方式では、同対象年齢で受診者数7,095人、要精検率5.9%、（非初回6.6%）、精検受診率84.2%、CIN3以上発見数16人0.23%（非初回7人0.25%）、CIN3以上陽性反応適中度3.8%であった。

新たなプロセス指標基準値と比較すると、CIN3以上発見率は、HPV併用方式で基準値を大きく上回るが、細胞診及びASC-US時HPV追加方式では下回った。また、精検受診率およびCIN3以上陽性反応適中度は全ての方式で基準値を下回った。

最近、子宮頸がん検診の方法として、従来の細胞診法に変わってHPV単独法が提案されているが、細胞診とHPV検査の利点が期待されるHPV併用方式の実施形態及びプロセス指標の詳細な検討が、より精度の高い新たな検診方法の提案につながるものと思われる。

乳がん検診

本報告書ではマンモグラフィをMG、乳房超音波をUSと表記する。

1 検診実施状況

1] 検診方式別実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)
MG + US	44,326	1,560 (3.5)
US	4,627	136 (2.9)
総 数	48,953	1,696 (3.5)

2] 検診方式別年齢階級別受診者数

	39歳以下 (%)		40～49歳 (%)		50～59歳 (%)		60～69歳 (%)		70歳以上 (%)	
MG + US	908	(2.0)	8,650	(19.5)	8,586	(19.4)	11,987	(27.0)	14,195	(32.0)
US	4,174	(90.2)	143	(3.1)	68	(1.5)	86	(1.9)	156	(3.4)
総 数	5,082	(10.4)	8,793	(18.0)	8,654	(17.7)	12,073	(24.7)	14,351	(29.3)

2 精検結果内訳 (発見がん追跡調査前)

	精 検 受 診								精 検	精 検	総 数	
	早 期 がん	進 行 がん	が ん 疑 い	線 維 腺 腫	乳 腺 症	乳 管 内 乳 頭 腫	そ の 他 の 疾 患	異 常 な し				
総数	123	17	46	229	365	156	32	129	427	149	23	1,696

3 発見がん追跡調査結果

1] 調査状況

	追跡調査対象者数 (a)	調 査 除 外 内 訳			追加調査 (e)*	調査数 (a-(b+c+d)+e)	回収数 (%)
	詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)				
総 数	186	3	0	0	3	186	181 (97.3)

*追加調査：精密検査結果連絡票ではその他の疾患であったが、記載よりがんが疑われるため調査とした者

2] 調査結果内訳 (調査数及び調査前に発見がんの詳細を把握していた数を併せた詳細)

	発見がん			良性 (%)	経過観察 (%)	異常なし (%)	未確定 (%)	追跡不能 (%)
	早期 (%)	進行 (%)	不明 (%)					
MG+US	112 (61.5)	30 (16.5)	2 (1.1)	17 (9.3)	11 (6.0)	1 (0.5)	4 (2.2)	5 (2.7)
US	5 (71.4)	1 (14.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (14.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
総数	117 (61.9)	31 (16.4)	2 (1.1)	17 (9.0)	12 (6.3)	1 (0.5)	4 (2.1)	5 (2.6)

3] プロセス指標値

(1) 年齢階級別プロセス指標値

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
29歳以下	163	4 (2.5)	3 (75.0)	0 (0.00)	(0.0)
30～34歳	1,668	69 (4.1)	59 (85.5)	2 (0.12)	(2.9)
35～39歳	3,251	120 (3.7)	105 (87.5)	6 (0.18)	(5.0)
40～44歳	4,178	278 (6.7)	249 (89.6)	7 (0.17)	(2.5)
45～49歳	4,615	241 (5.2)	209 (86.7)	17 (0.37)	(7.1)
50～54歳	4,553	201 (4.4)	178 (88.6)	13 (0.29)	(6.5)
55～59歳	4,101	114 (2.8)	102 (89.5)	10 (0.24)	(8.8)
60～64歳	5,271	162 (3.1)	146 (90.1)	20 (0.38)	(12.4)
65～69歳	6,802	164 (2.4)	150 (91.5)	19 (0.28)	(11.6)
70～74歳	7,776	202 (2.6)	190 (94.1)	32 (0.41)	(15.8)
75～79歳	4,540	93 (2.0)	89 (95.7)	18 (0.40)	(19.4)
80歳以上	2,035	48 (2.4)	44 (91.7)	6 (0.29)	(12.5)
総 数	48,953	1,696 (3.5)	1,524 (89.9)	150 (0.31)	(8.8)

(2) プロセス指標値の年次推移

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診率 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
令和5年度	48,953	1,696 (3.5)	(89.9)	150 (0.31)	(8.8)
令和4年度	48,476	2,032 (4.2)	(89.9)	160 (0.33)	(7.9)
令和3年度	47,387	1,938 (4.1)	(91.5)	153 (0.32)	(7.9)

4] 発見がんの詳細

(1) 臨床病期 (Stage) 分類

臨床病期分類	発見数 (%)
早期	0 (Tis) 29 (78.0)
	I 88
	II A 18
	II B 6
進行	III A 1 (20.7)
	III B 2
	III C 1
	IV 3
不明	2
総 数	150

※ 両側乳がん3人あり、Stageの高い方に計上

(2) 組織学的分類

組織学的分類	発見数 (%)
非浸潤性乳管癌	26 (17.3)
非浸潤性小葉癌	1 (0.7)
微小浸潤癌	5 (3.3)
腺管形成型	23 (15.3)
浸潤性乳管癌	充実型 10 (6.7)
	硬性型 52 (34.7)
	亜型不明 14 (9.3)
	その他** 1 (0.7)
特殊型	浸潤性小葉癌 9 (6.0)
	粘液癌 4 (2.7)
	浸潤性微小乳頭癌 1 (0.7)
	充実乳頭癌 1 (0.7)
	不明・未記入 3 (2.0)
総 数	150

※ 両側乳がん3人あり、Stageの高い方に計上

**硬性型と充実型の混在

4 検診方式別発見がん追跡調査結果

1] MG + US併用方式 (MGはMLO1方向撮影、クーポン券利用の40歳代は原則2方向撮影)

(1) プロセス指標値

1) 年齢階級別プロセス指標値

	受診者数	要精検者数 (%)	検査方法別要精検者数 (%)*		精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)	
			MG	U S				
29歳以下	8	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	- (-)	0 (0.00)	(0.0)	
30～34歳	155	14 (9.0)	8 (5.2)	6 (3.9)	13 (92.9)	0 (0.00)	(0.0)	
35～39歳	745	52 (7.0)	37 (5.0)	18 (2.4)	46 (88.5)	2 (0.27)	(3.8)	
40～44歳	4,075	274 (6.7)	195 (4.8)	105 (2.6)	245 (89.4)	7 (0.17)	(2.6)	
45～49歳	4,575	237 (5.2)	136 (3.0)	126 (2.8)	206 (86.9)	17 (0.37)	(7.2)	
50～54歳	4,522	200 (4.4)	120 (2.7)	105 (2.3)	177 (88.5)	13 (0.29)	(6.5)	
55～59歳	4,064	114 (2.8)	66 (1.6)	59 (1.5)	102 (89.5)	10 (0.25)	(8.8)	
60～64歳	5,225	162 (3.1)	96 (1.8)	81 (1.6)	146 (90.1)	20 (0.38)	(12.3)	
65～69歳	6,762	164 (2.4)	94 (1.4)	80 (1.2)	150 (91.5)	19 (0.28)	(11.6)	
70～74歳	7,726	202 (2.6)	126 (1.6)	104 (1.3)	190 (94.1)	32 (0.41)	(15.8)	
75～79歳	4,483	93 (2.1)	63 (1.4)	48 (1.1)	89 (95.7)	18 (0.40)	(19.4)	
80歳以上	1,986	48 (2.4)	26 (1.3)	29 (1.5)	44 (91.7)	6 (0.30)	(12.5)	
総数	44,326	1,560 (3.5)	967 (2.2)	761 (1.7)	1,408 (90.3)	144 (0.32)	(9.2)	
受診歴計	36,949	1,353 (3.7)	833 (2.3)	660 (1.8)	1,216 (89.9)	118 (0.32)	(8.7)	
40-74歳 (再掲)	初回	6,582	606 (9.2)	438 (6.6)	252 (3.8)	524 (86.5)	46 (0.70)	(7.6)
	非初回	30,367	747 (2.5)	395 (1.3)	408 (1.3)	692 (92.6)	72 (0.24)	(9.6)

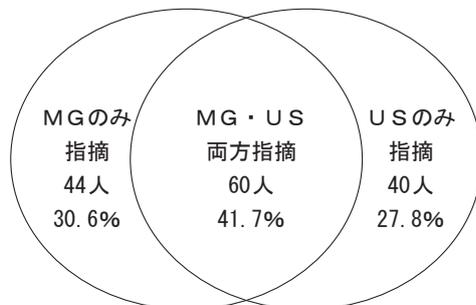
* 検査方法別要精検者数については総合判定後の内訳

2) 検査方法別プロセス指標値

① プロセス指標値

	MG	U S	総数
実施人数	-	-	44,326
発見がん数 (%)	104 (0.23)	100 (0.23)	144 (0.32)
総合判定前			
要精検者数 (%)	1,202 (2.7)	769 (1.7)	1,796 (4.1)
陽性反応適中度 (%)	(8.7)	(13.0)	(8.0)
総合判定後			
要精検者数 (%)	967 (2.2)	761 (1.7)	1,560 (3.5)
陽性反応適中度 (%)	(10.8)	(13.1)	(9.2)

② 検査方法別発見がん内訳



3) 受診歴別プロセス指標値

※令和6年度地域保健・健康増進事業報告より、

初 回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も乳がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上乳がん検診を受診している者

① 受診歴別検査方法別要精検率

	初回 (17.0%)				非初回 (83.0%)			
	受診者数	要精検者数 (%)	検査方法別要精検率 (%)*		受診者数	要精検者数 (%)	検査方法別要精検率 (%)*	
			MG	U S			MG	U S
29歳以下	8	0 (0.0)	0.0	0.0	0	- (-)	-	-
30～34歳	60	6 (10.0)	8.3	1.7	95	8 (8.4)	3.2	5.3
35～39歳	202	21 (10.4)	7.9	3.5	543	31 (5.7)	3.9	2.0
40～44歳	1,076	134 (12.5)	9.2	4.7	2,999	140 (4.7)	3.2	1.8
45～49歳	928	106 (11.4)	7.5	5.5	3,647	131 (3.6)	1.8	2.1
50～54歳	917	84 (9.2)	6.3	4.3	3,605	116 (3.2)	1.7	1.8
55～59歳	798	52 (6.5)	4.4	3.1	3,266	62 (1.9)	0.9	1.0
60～64歳	945	73 (7.7)	6.1	2.8	4,280	89 (2.1)	0.9	1.3
65～69歳	1,007	72 (7.1)	5.3	2.6	5,755	92 (1.6)	0.7	0.9
70～74歳	911	85 (9.3)	7.1	3.7	6,815	117 (1.7)	0.9	1.0
75～79歳	474	30 (6.3)	5.3	2.5	4,009	63 (1.6)	0.9	0.9
80歳以上	229	15 (6.6)	4.8	3.1	1,757	33 (1.9)	0.9	1.3
総 数	7,555	678 (9.0)	6.6	3.7	36,771	882 (2.4)	1.3	1.3

* 検査方法別要精検率については総合判定後の内訳

② 受診歴別臨床病期分類 (Stage) 別発見がん数

		初 回		非初回		総 数	
受診者数		7,555		36,771		44,326	
要精検者数		678		882		1,560	
発見がん数 (%)		58 (0.77)		86 (0.23)		144 (0.32)	
臨床病期分類	早期 (%)	0	13 (72.4)	13 (81.4)	26 (77.8)		
		I	29	57	86		
		II A	9	9	18		
		II B	4	2	6		
	進行 (%)	III A	0 (25.9)	1 (17.4)	1 (20.8)		
		III B	1	1	2		
		III C	0	1	1		
		IV	1	1	2		
不 明		1		1		2	
陽性反応適中度 (%)		(8.6)		(9.8)		(9.2)	

※両側乳がん3人あり、Stageの高い方に計上

(2) 発見がんの詳細

1) 臨床病期 (Stage) 分類

臨床病期分類		発見数 (%)	
早期	0 (Tis)	26	(77.8)
	I	86	
進行	II A	18	(20.8)
	II B	6	
	III A	1	
	III B	2	
	III C	1	
	IV	2	
不明		2	
総 数		144	

※ 両側乳がん3人あり、Stageの高い方に計上

2) 組織学的分類

組織学的分類		発見数 (%)	
	非浸潤性乳管癌	24	(16.7)
	非浸潤性小葉癌	1	(0.7)
浸潤性乳管癌	微小浸潤癌	4	(2.8)
	腺管形成型	23	(16.0)
	充実型	10	(6.9)
	硬性型	51	(35.4)
	亜型不明	12	(8.3)
	その他**	1	(0.7)
	浸潤性小葉癌	9	(6.3)
特殊型	粘液癌	4	(2.8)
	浸潤性微小乳頭癌	1	(0.7)
	充実乳頭癌	1	(0.7)
	不明・未記入	3	(2.1)
総 数		144	

※ 両側乳がん3人あり、Stageの高い方に計上

** 硬性型と充実型の混在

3) 手術方法

切除範囲	乳房部分切除術	乳房全切除術	不明
総数	83	58	6

※ 両側乳がん3人あり、のべ147人

2] US法

※主に30代のUS単独検診と、40歳以上で当施設が定める禁忌事項に当てはまりMG撮影が出来なかった受診者

(1) 年齢階級別プロセス指標値

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
29歳以下	155	4 (2.6)	3 (75.0)	0 (0.00)	(0.0)
30～34歳	1,513	55 (3.6)	46 (83.6)	2 (0.13)	(3.6)
35～39歳	2,506	68 (2.7)	59 (86.8)	4 (0.16)	(5.9)
40～44歳	103	4 (3.9)	4 (100.0)	0 (0.00)	(0.0)
45～49歳	40	4 (10.0)	3 (75.0)	0 (0.00)	(0.0)
50～54歳	31	1 (3.2)	1 (100.0)	0 (0.00)	(0.0)
55～59歳	37	0 (0.0)	- (-)	0 (0.00)	(0.0)
60～64歳	46	0 (0.0)	- (-)	0 (0.00)	(0.0)
65～69歳	40	0 (0.0)	- (-)	0 (0.00)	(0.0)
70～74歳	50	0 (0.0)	- (-)	0 (0.00)	(0.0)
75～79歳	57	0 (0.0)	- (-)	0 (0.00)	(0.0)
80歳以上	49	0 (0.0)	- (-)	0 (0.00)	(0.0)
総数	4,627	136 (2.9)	116 (85.3)	6 (0.13)	(4.4)
39歳以下(再掲)	4,174	127 (3.0)	108 (85.0)	6 (0.14)	(4.7)

(2) 発見がんの詳細

1) 臨床病期 (Stage) 分類			2) 組織学的分類	
臨床病期分類		発見数 (%)	組織学的分類	発見数 (%)
早期	0 (Tis)	3	非浸潤性乳管癌	2 (33.3)
	I	2 (83.3)	微小浸潤癌	1 (16.7)
進行	IV	1 (16.7)	浸潤性乳管癌 硬性型	1 (16.7)
			浸潤性乳管癌 亜型不明	2 (33.3)
総数		6	総数	6

(4) 手術方法

切除範囲	乳房部分切除術	乳房全切除術	不明
総数	1	4	1

5 まとめ

令和5年度の乳がん検診の受診者数は48,953人であり、令和4年度の48,476人から477人増加した。要精検率は3.5%であった。追跡調査の結果、精検受診率89.9%、がん発見率0.31%、陽性反応適中度8.8%であった。

MG + US併用方式は当施設の乳がん検診の90.5%を占めており、判定方法は分離併用総合判定方式を導入している。受診者数は44,326人、総合判定の対象となったのは1,796人 (4.1%) であり、総合判定後の要精検率は3.5%であった。追跡調査の結果、精検受診率90.3%、がん発見数144人 (0.32%)、陽性反応適中度9.2%であった。

発見された乳がん144人のうち、MGとUSの両方で指摘したのは60人 (41.7%)、MGのみは44人 (30.6%)、USのみは40人 (27.8%) であった。

対象年齢 40～74歳のプロセス指標基準値との比較では、要精検率3.7%、がん発見率0.32%、陽性反応適中度8.7%で基準値を満たしていたが、精検受診率は89.9%で基準値を満たしていなかった。受診歴別では初回受診者は要精検率9.2%、がん発見率0.70%、陽性反応適中度7.6%で、すべて基準値を満たしていた。また、非初回受診者は要精検率2.5%、がん発見率0.24%、陽性反応適中度9.6%で、すべて基準値を満たしていた。

US単独方式は、受診者数4,627人、要精検率2.9%であり、追跡調査の結果、精検受診率85.3%、がん発見数6人 (0.13%)、陽性反応適中度4.4%であった。

前立腺がん検診

1 検診実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)
総数	27,421	2,124 (7.7)

※PSA基準値 (64歳以下：3.00ng/mL以下、65歳～69歳：3.50ng/mL以下、70歳以上：4.00ng/mL以下)

2 精検結果内訳 (発見がん追跡調査前)

	精 検 受 診						精 検 未 把 握	精 検 未 受 診	総 数
	が ん	が ん 疑 い	前 立 腺 肥 大 症	前 立 腺 炎	そ の 他 の 疾 患	異 常 な し			
総数	91	420	484	30	24	494	465	116	2,124

3 発見がん追跡調査結果

1] 調査状況

追跡調査対象者数 (a)	調 査 除 外 内 訳			調査数 (a-(b+c+d))	回収数 (%)
	詳細把握 (b)	以前に診断済 (c)	その他 (d)		
総数	511	4	15	2	452 (92.2)

2] 調査結果内訳

	が ん (%)	そ の 他 の 疾 患 (%)	異 常 な し (%)	経 過 観 察 (%)	未 確 定 (%)
総数	148 (32.7)	29 (6.4)	44 (9.7)	220 (48.7)	11 (2.4)

3] プロセス指標値

(1) 年齢階級別プロセス指標値

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
39歳以下	7	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.00)	(0.0)
40～44歳	67	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.00)	(0.0)
45～49歳	227	4 (1.8)	4 (100.0)	0 (0.00)	(0.0)
50～54歳	1,757	39 (2.2)	29 (74.4)	1 (0.06)	(2.6)
55～59歳	1,652	80 (4.8)	46 (57.5)	3 (0.18)	(3.8)
60～64歳	2,557	194 (7.6)	124 (63.9)	8 (0.31)	(4.1)
65～69歳	5,381	424 (7.9)	295 (69.6)	30 (0.56)	(7.1)
70～74歳	7,397	547 (7.4)	356 (65.1)	51 (0.69)	(9.3)
75～79歳	5,034	472 (9.4)	345 (73.1)	36 (0.72)	(7.6)
80歳以上	3,342	364 (10.9)	251 (69.0)	19 (0.57)	(5.2)
総数	27,421	2,124 (7.7)	1,450 (68.3)	148 (0.54)	(7.0)

(2) 受診歴別プロセス指標値

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応 適中度 (%)
初 回	4,693	439 (9.4)	288 (65.6)	35 (0.75)	(8.0)
非初回	22,728	1,685 (7.4)	1,162 (69.0)	113 (0.50)	(6.7)
総 数	27,421	2,124 (7.7)	1,450 (68.3)	148 (0.54)	(7.0)

※ 初 回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も前立腺がん検診を受診していない者
非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上前立腺がん検診を受診している者

(3) プロセス指標値の年次推移

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応 適中度 (%)
令和5年度	27,421	2,124 (7.7)	1,450 (68.3)	148 (0.54)	(7.0)
令和4年度	26,634	2,103 (7.9)	1,642 (78.1)	154 (0.58)	(7.3)
令和3年度	25,142	2,060 (8.2)	1,467 (71.2)	168 (0.67)	(8.2)

4] 発見がんの詳細

(1) 臨床病期 (T分類)

T分類	発見数 (%)
T1c	11 (7.4)
T2a	84 (56.8)
T2b	14 (9.5)
T2c	22 (14.9)
T3a	11 (7.4)
T3b	4 (2.7)
T4	1 (0.7)
Tx	0 (0.0)
不 明	1 (0.7)
総 数	148

1) T分類別による所属リンパ節への転移 (N) 及び遠隔転移 (M) の内訳

臨床病期 分 類	発見数	所属リンパ節転移 (N)				遠 隔 転 移 (M)			
		N0	N1	NX	不明	M0	M1	MX	不明
T1c	11	11	0	0	0	11	0	0	0
T2a	84	83	0	0	1	82	1	0	1
T2b	14	14	0	0	0	14	0	0	0
T2c	22	21	0	0	1	21	0	0	1
T3a	11	10	1	0	0	10	1	0	0
T3b	4	3	0	1	0	3	0	0	1
T4	1	1	0	0	0	0	1	0	0
Tx	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不 明	1	1	0	0	0	1	0	0	0
総 数	148	144	1	1	2	142	3	0	3

(2) 臨床病期 (Stage分類)

Stage分類	発見数 (%)
I	93 (62.8)
II	35 (23.6)
III	13 (8.8)
IV	3 (2.0)
不明	4 (2.7)
総数	148

1) 臨床病期 (Stage分類) IV 3人の前回受診結果

Stage分類	令和5年度			前回受診結果		
	検診時 PSA値	Gleasonスコア	TNM分類	受診年度	検診時 PSA値	精検結果
IV	19.20	8	T2a, N0, M1	(初回受診のため結果なし)		
IV	124	9	T4, N0, M1	(初回受診のため結果なし)		
IV	237	9	T3a, N1, M1	R3	34.65	結果未把握

(3) Gleasonスコア

Gleasonスコア	発見数 (%)
5	1 (0.7)
6	31 (20.9)
7	60 (40.5)
8	31 (20.9)
9	22 (14.9)
10	1 (0.7)
不明	2 (1.4)
総数	148

(4) 治療方法

治療方法	発見数 (%)
監視療法	12 (8.1)
内分泌療法	25 (16.9)
手術療法	81 (54.7)
放射線療法	25 (16.9)
その他	5 (3.4)
不明	0 (0.0)
総数	148

5] 受診歴別発見がん

(1) 臨床病期 (Stage分類)

	発見数	I	II	III	IV	不明
初回	35	18	8	5	2	2
非初回	113	75	27	8	1	2
総数	148	93	35	13	3	4

(2) 非初回受診で発見された113人の前回受診結果

前回受診結果	
異常なし	要精検 (精検未受診者数)
59	54 (14)

4 まとめ

令和5年度前立腺がん検診の受診者数は27,421人、要精検率7.7%であった。追跡調査の結果、精検受診率68.3%、がん発見数148人（0.54%）、陽性反応適中度7.0%であった。

がん発見率を受診歴別で見ると、初回受診者0.75%、非初回受診者0.50%であり、年齢階級別では50歳以上から加齢とともに上昇傾向を示していた。

臨床病期 TNM分類のうち原発腫瘍の深達度を分類するT分類では、がんが前立腺内にとどまっているT1c、T2a、T2b、T2cが多く、全体の131人（88.5%）であった。

臨床病期（Stage分類）IVで発見された3人のうち1人が非初回受診者で、前回検診時に要精検となったものの、精検受診の有無が把握できない「精検結果未把握」であり、Gleasonスコアは病理組織学的に高悪性度群であるスコア9であった。また、非初回受診者の前立腺がん113人のうち54人は前回検診結果が要精検であり、精検未受診者が14人いた。要精検者については悪性度が高く進展の早いがんであることも考慮し、適切な精密検査の受診勧奨が必要であると考えられる。